

令和元年度

ヒヤリ・ハット調査

「年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の危険」

調査報告書

令和2年3月

東京都生活文化局

目次

I. 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査対象及び調査手法	3
(1) 調査対象者	3
(2) 回答者数	3
(3) 調査実施方法	3
(4) 調査期間	3
(5) 調査項目	3
3. 集計・分析にあたって	4
4. 自由記述の分類について	4
II. 調査結果	5
1. 回答者の基本情報	5
(1) 居住地	5
(2) 性別	5
(3) 年代	6
(4) 子供の人数	6
(5) 子供の性別・年齢	7
2. 年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）	8
(1) 年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験の有無	8
3. 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験	15
(1) 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	15
(2) 「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験	18
(3) 「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験	21
(4) 「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験	23
(5) 「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験	25
(6) 「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験	27
(7) 「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験	29
(8) 「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験	32
(9) 「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験	34
(10) 「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験	36
(11) 詳細事例	38
4. 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験	43
(1) 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）	43
(2) 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験	46

(3) 「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験	48
(4) 「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験	50
(5) 詳細事例	52
5. その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験	55
(1) その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)	55
(2) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験	58
(3) 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験	60
(4) 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験	62
(5) 詳細事例	64
6. 日常生活で使用する製品等について年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけてい ることや工夫	68
(1) 日常生活で使用する製品等について年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけて いることや工夫(概要)	68
(2) 詳細事例	69
Ⅲ. まとめ	73
Ⅳ. アンケート内容	74

I. 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、年齢の異なる子供のいる家庭における兄や姉を持つ乳幼児（以下、「年下の乳幼児」という。）の危害及びヒヤリ・ハット経験等を収集することを目的に実施した。

2. 調査対象及び調査手法

（1）調査対象者

東京都または埼玉県、千葉県、神奈川県に居住する6ヶ月以上～小学校入学前の年下の乳幼児と同居する20歳以上の保護者であること。

※調査は主に東京都在住者を対象として実施し、不足する部分について、埼玉県、千葉県、神奈川県在住者にて補完した。

（2）回答者数

3,000人

（3）調査実施方法

インターネットアンケート

（4）調査期間

令和2年1月8日～1月14日

（5）調査項目

ア 年齢の異なる子供のいる家庭における場面1から3までの次の項目

- ・危害及びヒヤリ・ハット経験の程度
- ・危害及びヒヤリ・ハット経験の詳細（製品、年齢、事例）
- ・危害及びヒヤリ・ハット経験を防ぐ方法と未然防止策の工夫

【場面1】年下の乳幼児が、兄や姉の製品を使用したことによって起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験（以下、「兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験」という。）

【場面2】兄や姉が、年下の乳幼児の製品（乳幼児の安全対策のための製品を含む）を使用したことによって起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験（以下、「年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験」という。）

【場面3】保護者または兄や姉が、場面1、2以外の製品を使用して起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験。ただし、兄や姉との関わりのある経験に限る。（以下、「その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験という。」

イ 日常生活で使用する製品等に関し、年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫（任意回答）

※危害及びヒヤリ・ハット経験について

本報告書において「危害」とは、けが、やけど等の外傷及び、誤飲、窒息による体調不良を示す。「ヒヤリ・ハット」とは、上記のような危害には至らなかったが、けがや体調不良を引き起こしそうになったことを示す。

3. 集計・分析にあたって

- ・ 回答比率（％）は、小数点以下第二位を四捨五入して算出した。そのため、回答比率を合計しても 100%にならない場合がある。ただし、小数点以下第二位を四捨五入すると「0」となってしまう要素がある場合、小数点以下第三位を四捨五入して算出している。
- ・ 複数回答（MA）設問の場合、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- ・ グラフに表記されている「N＝＊」「n＝＊」（＊は数字）は、対象の母数を表している。なお、N はグラフ全体の母数、n は各項目の母数を表す。
- ・ グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票上の文言と一致していない場合がある。（アンケート調査票上の文言については、「Ⅳ．アンケート内容」を参照。）
- ・ “危害経験がある”という表現は、年下の乳幼児が「けがをして入院した」「けがをして病院へ行った」「けがをしたが病院へは行かなかった」との回答を示すものであり、“ヒヤリ・ハット経験がある”は、年下の乳幼児「けがをしそうになった」との回答を示す。
- ・ 集計単位（件数、人数）については、事例に関する記載においては「件」、人数に関する記載においては「人」で統一している。

4. 自由記述の分類について

（１）全体

回答を分類する際は、原則として回答者の申告を採用した。

（２）製品の分類について

- ・ 原則として、年下の乳幼児がヒヤリ・ハット経験をした製品を採用した。
- ・ 複数の製品を使用していた回答は、原則として直接の原因になった製品を採用した。
- ・ 【場面１】の玩具類及び文具類は、細分化したうえ内訳を算出した。

（３）事例の分類について

- ・ 複数の事象が混在した回答は、原則として危害の起点となったものに分類をした。
- ・ 事例の分類は出現数上位 10 位について扱い、11 位以降は「その他」としてまとめた。
- ・ 「誤飲」には、異物を誤って飲み込み消化管に入った事例（消化管異物）の他、異物が誤って気道内に入った事例（気道異物）も含んでいる。

Ⅱ．調査結果

1．回答者の基本情報

(1) 居住地

居住地は、「東京都」が 50.1%、次いで、「神奈川県」が 20.2%、「埼玉県」が 16.2%、「千葉県」が 13.6%となっている。

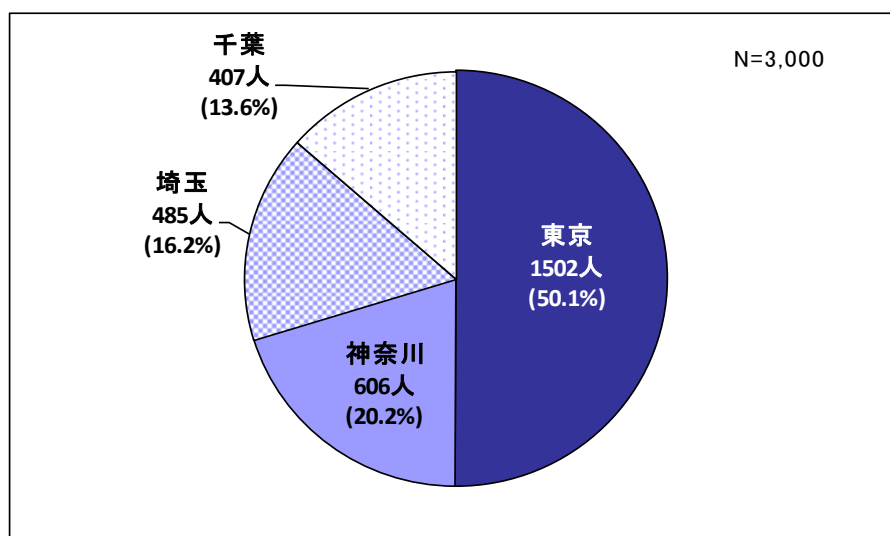


図 1_1. 居住地

(2) 性別

性別は、「男性」41.8%、「女性」58.2%となっている。

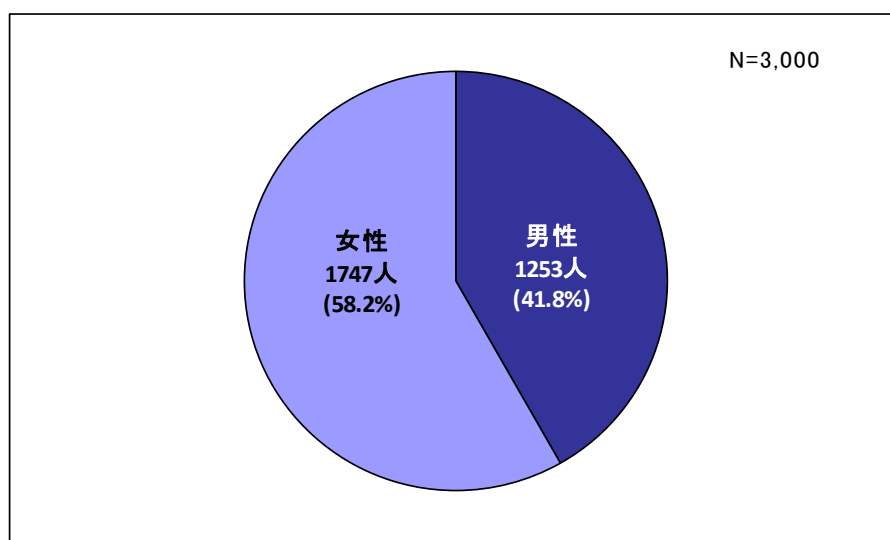


図 1_2. 性別

(3) 年代

年代は、「20代」5.6%、「30代」54.3%、「40代」37.6%、「50代以上」2.5%となっている。

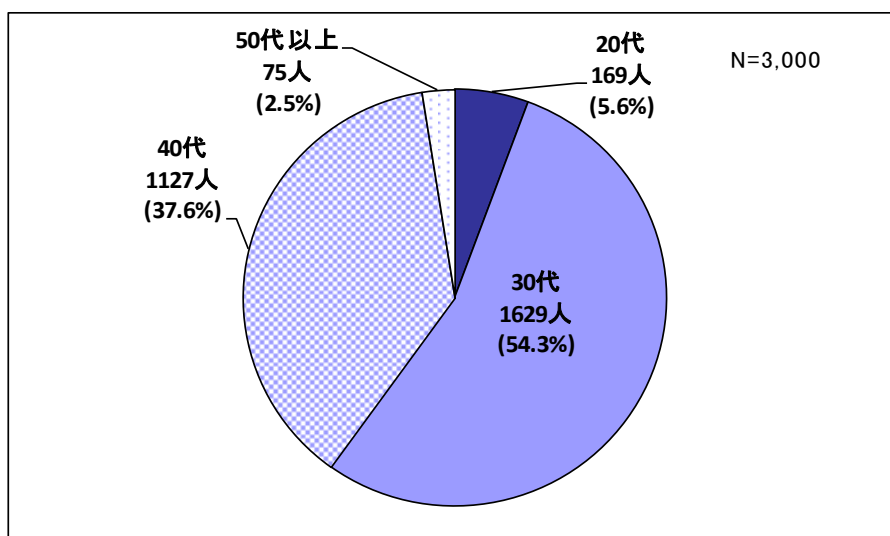


図 1_3. 年代別

(4) 子供の人数

子供の人数は、「2人」76.3%、「3人」20.0%、「4人以上」3.8%となっている。

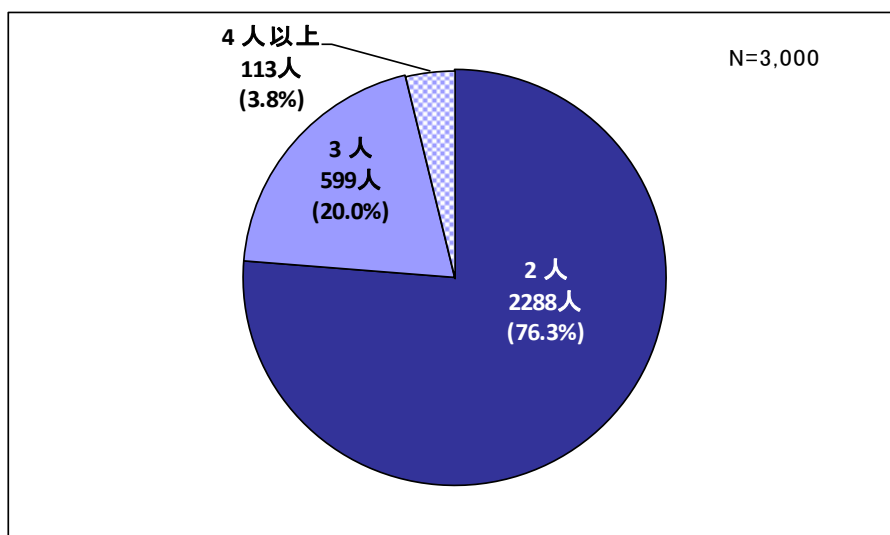


図 1_4. 子供の人数

(5) 子供の性別・年齢

回答者の子供（複数回答）の性別・年齢の割合を下図に示す。「小学生以上」が64.5%で最も多く、次いで「4歳」が28.2%、「5歳」が28.1%となっている。

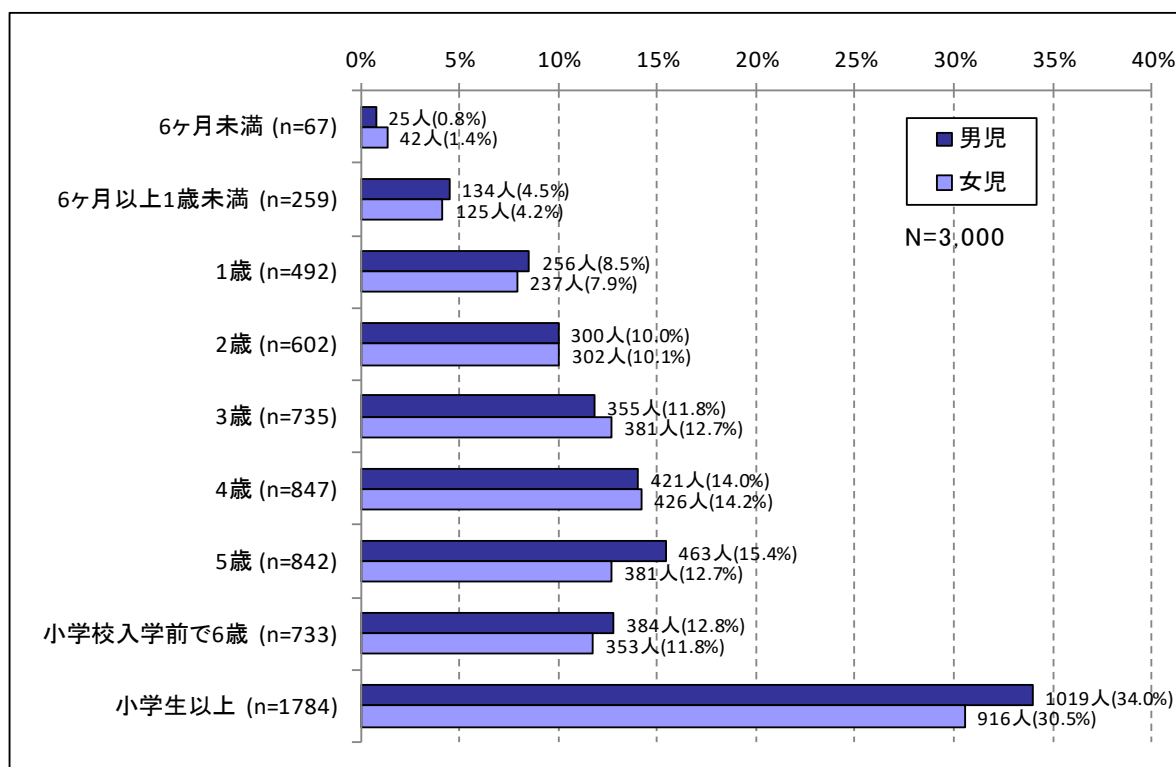


図 1_5. 子供の人数 性別・年齢

2. 年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）

（1）年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験の有無

図 2_1 は、年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験について、3つの場面全体での経験割合を示している。何らかの危害及びヒヤリ・ハット経験者（“危害経験がある”＋“ヒヤリ・ハット経験がある”）は1,429人（47.6%）で、全体の約半数であった。そのうち、“危害経験がある”乳幼児は438人（14.6%）となっている。

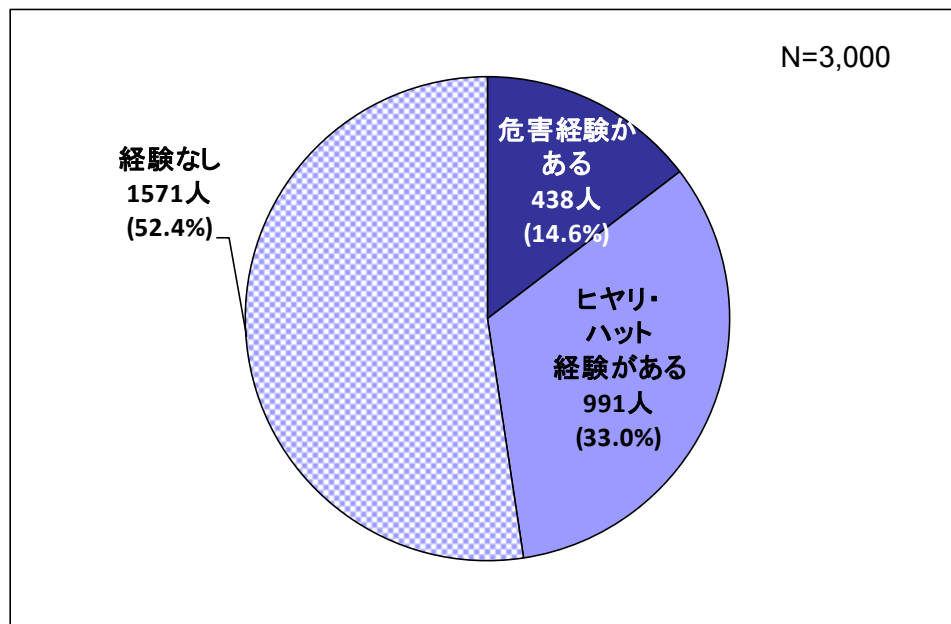


図 2_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（全体）

※回答者が複数の危害及びヒヤリ・ハットを経験している場合、より危害程度の高い方を分類対象とした（例：【場面1】で「けがをして入院した」経験があり、【場面2】で「けがをしそうになった」と回答している場合、“危害経験がある”として分類した）。

図 2_2 は本調査で収集した危害及びヒヤリ・ハット経験を、起きた場面別に分類し、それぞれの経験者数を示している。

「兄や姉の製品【場面 1】」は危害及びヒヤリ・ハット経験者が 3,000 人中 1,156 人（38.5%）と最も多く、次いで「その他の製品【場面 3】」が 686 人（22.9%）、「年下の乳幼児の製品【場面 2】」が 505 人（16.8%）と続く。

「危害経験がある」の回答が最も多かったのは「その他の製品【場面 3】」で、264 人（8.8%）であった。

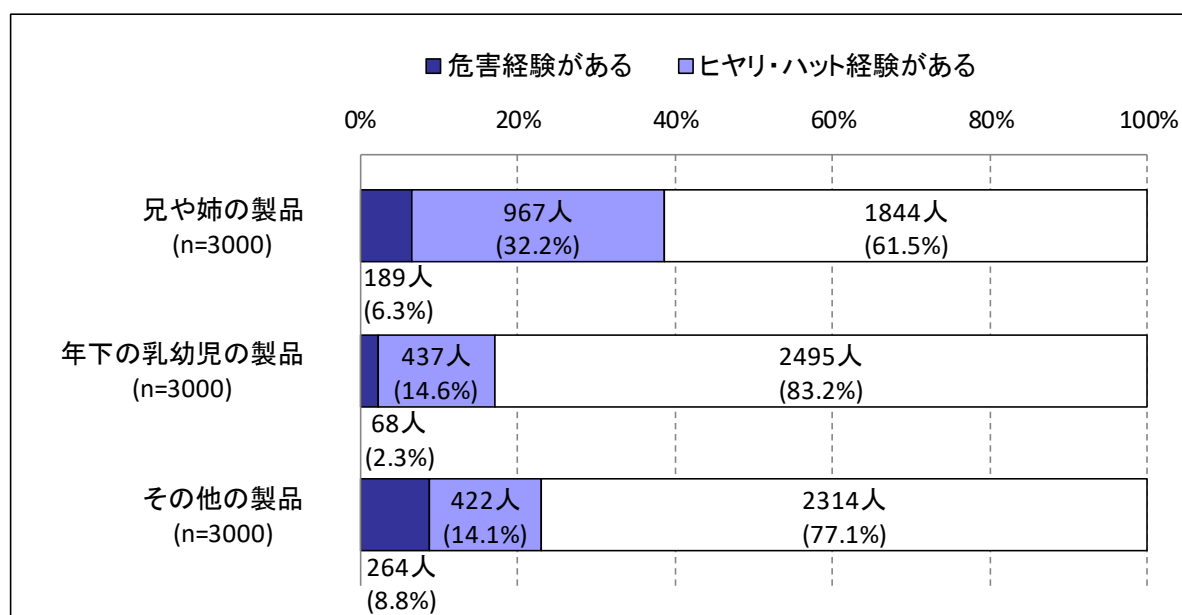


図 2_2. 危害及びヒヤリ・ハット経験（場面別）

図 2_3 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、年齢別の事例数を示している。

本調査では延べ 2,347 件の事例が得られ、そのうち、1 歳が最も多く 825 件であった。以降は年齢が上がるにつれ減少している。

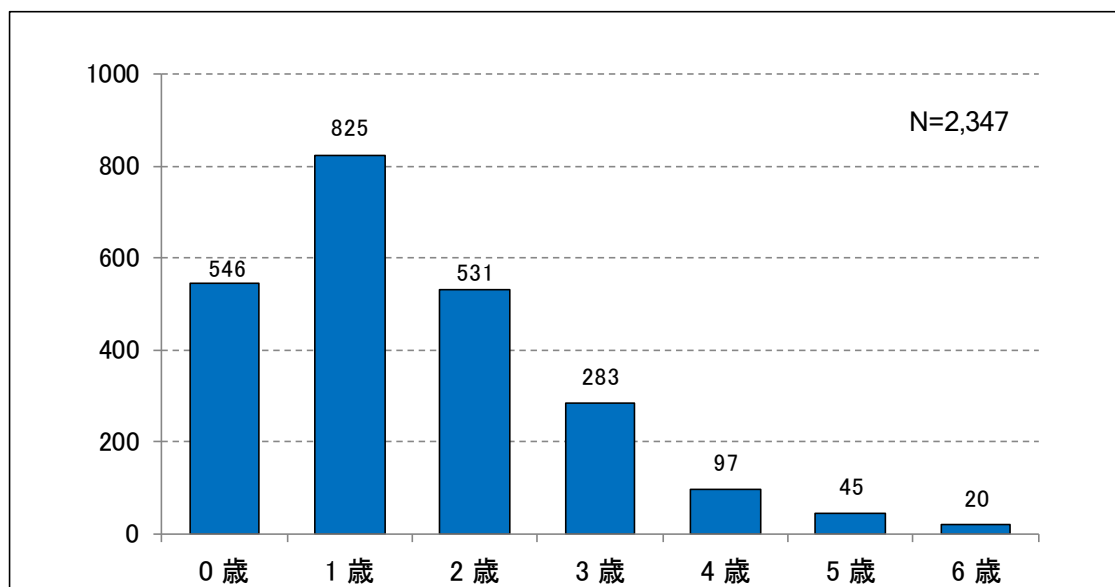


図 2_3. 危害及びヒヤリ・ハット経験（子供の年齢別）

表 2_1、表 2_2 は、性別ごとにそれぞれの年齢で回答された事例の上位 3 位までを下記に示す。
男児、女児ともに、「誤飲」が最も多く、「転倒」、「切った」が続いた。「転倒」は男児・女児ともにすべての年齢で上位 3 位までに入った。

表 2_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（男児・年齢別）

【男児合計】

順位	事例	件
1	誤飲	299
2	転倒	257
3	切った	211
	事例総数	1,233

【男児0 歳】

順位	事例	件
1	誤飲	117
2	転倒	42
3	切った	17
	事例総数	262

【男児1 歳】

順位	事例	件
1	誤飲	128
2	転倒	89
3	切った	72
	事例総数	436

【男児2 歳】

順位	事例	件
1	切った	81
2	転倒	75
3	はさんだ	40
	事例総数	307

【男児3 歳】

順位	事例	件
1	転倒	30
1	切った	30
3	はさんだ	25
	事例総数	136

【男児4 歳】

順位	事例	件
1	転倒	13
2	はさんだ	11
3	ぶつけた	10
	事例総数	56

【男児5 歳】

順位	事例	件
1	はさんだ	6
2	転倒	4
2	切った	4
	事例総数	23

【男児6 歳】

順位	事例	件
1	転倒	4
2	誤飲	3
3	突いた・刺さった	2
	事例総数	13

※同位の場合は、全体での出現数が多い事例の順とした。

第 3 位が複数ある場合は、全体での出現数が多い事例を記載した。

表 2_2. 危害及びヒヤリ・ハット経験（女兒・年齢別）

【女兒合計】

順位	事例	件
1	誤飲	280
2	転倒	248
3	切った	210
	事例総数	1,114

【女兒0 歳】

順位	事例	件
1	誤飲	127
2	転倒	57
3	転落	21
	事例総数	284

【女兒1 歳】

順位	事例	件
1	誤飲	108
2	転倒	81
3	切った	79
	事例総数	389

【女兒2 歳】

順位	事例	件
1	切った	64
2	転倒	53
3	はさんだ	34
	事例総数	224

【女兒3 歳】

順位	事例	件
1	転倒	39
2	切った	35
3	はさんだ	29
	事例総数	147

【女兒4 歳】

順位	事例	件
1	転倒	13
2	切った	8
3	はさんだ	5
	事例総数	41

【女兒5 歳】

順位	事例	件
1	切った	5
1	ぶつけた	5
3	転倒	4
	事例総数	22

【女兒6 歳】

順位	事例	件
1	切った	2
2	誤飲	1
2	転倒	1
	事例総数	7

※同位の場合は、全体での出現数が多い事例の順とした。

第3位が複数ある場合は、全体での出現数が多い事例を記載した。

図 2_4 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例別に発生件数をまとめた結果である（出現数が 11 位以降の事例は「その他」とした。）。

「誤飲」が 579 件と最も多く、“危害経験がある”との回答は 67 件となっている。

「誤飲」以外での危害及びヒヤリ・ハット経験は、「転倒」が 505 件、「切った」が 421 件、「はさんだ」が 268 件、「ぶつけた」が 145 件と続く。

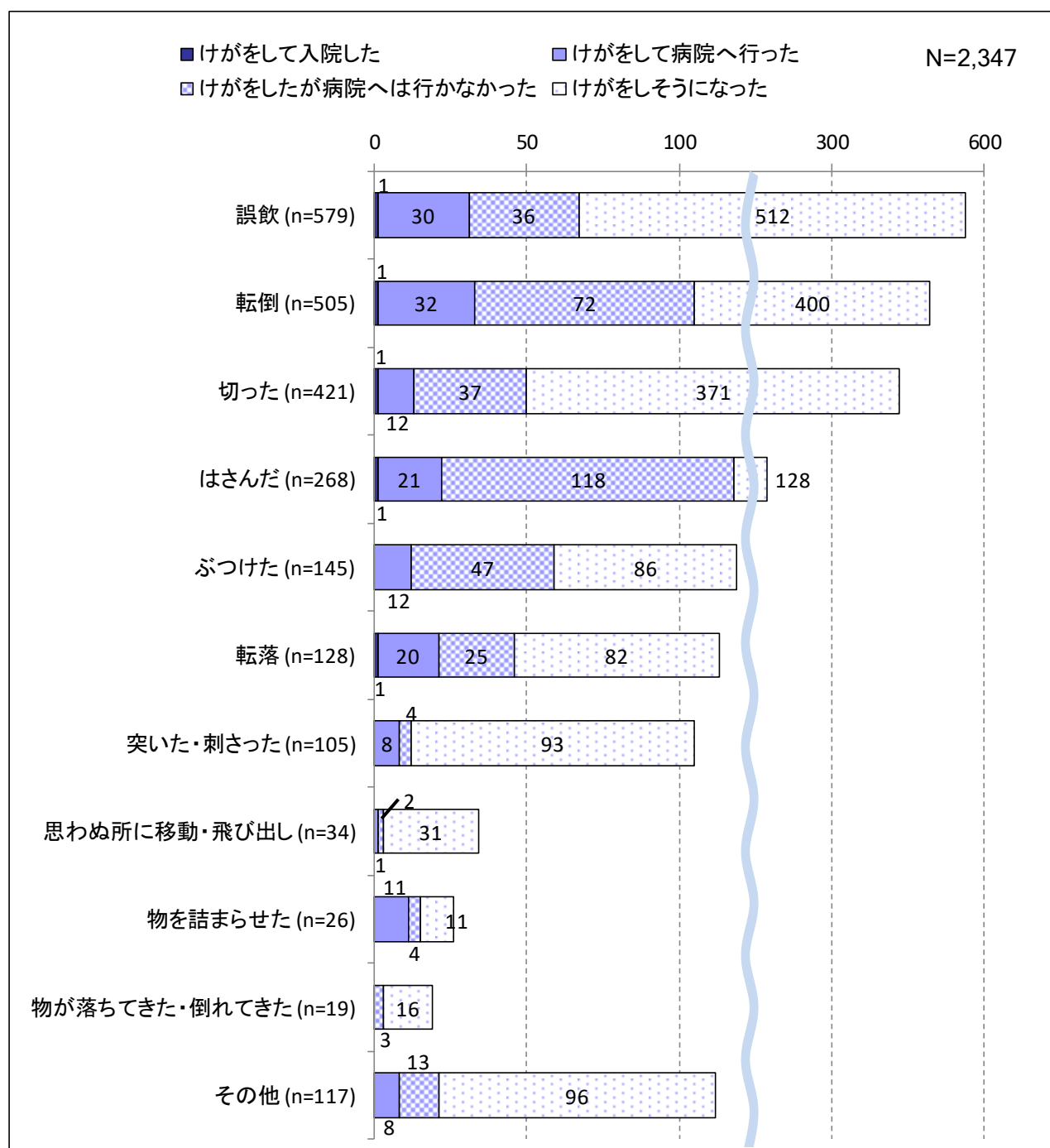


図 2_4. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

図 2_5 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、子供の性・年齢別に危害の程度をまとめた結果である。

“危害経験がある”は、「男児 1 歳」が 87 件と最も多く、次いで「男児 2 歳」が 84 件、「女児 1 歳」が 66 件となっている。

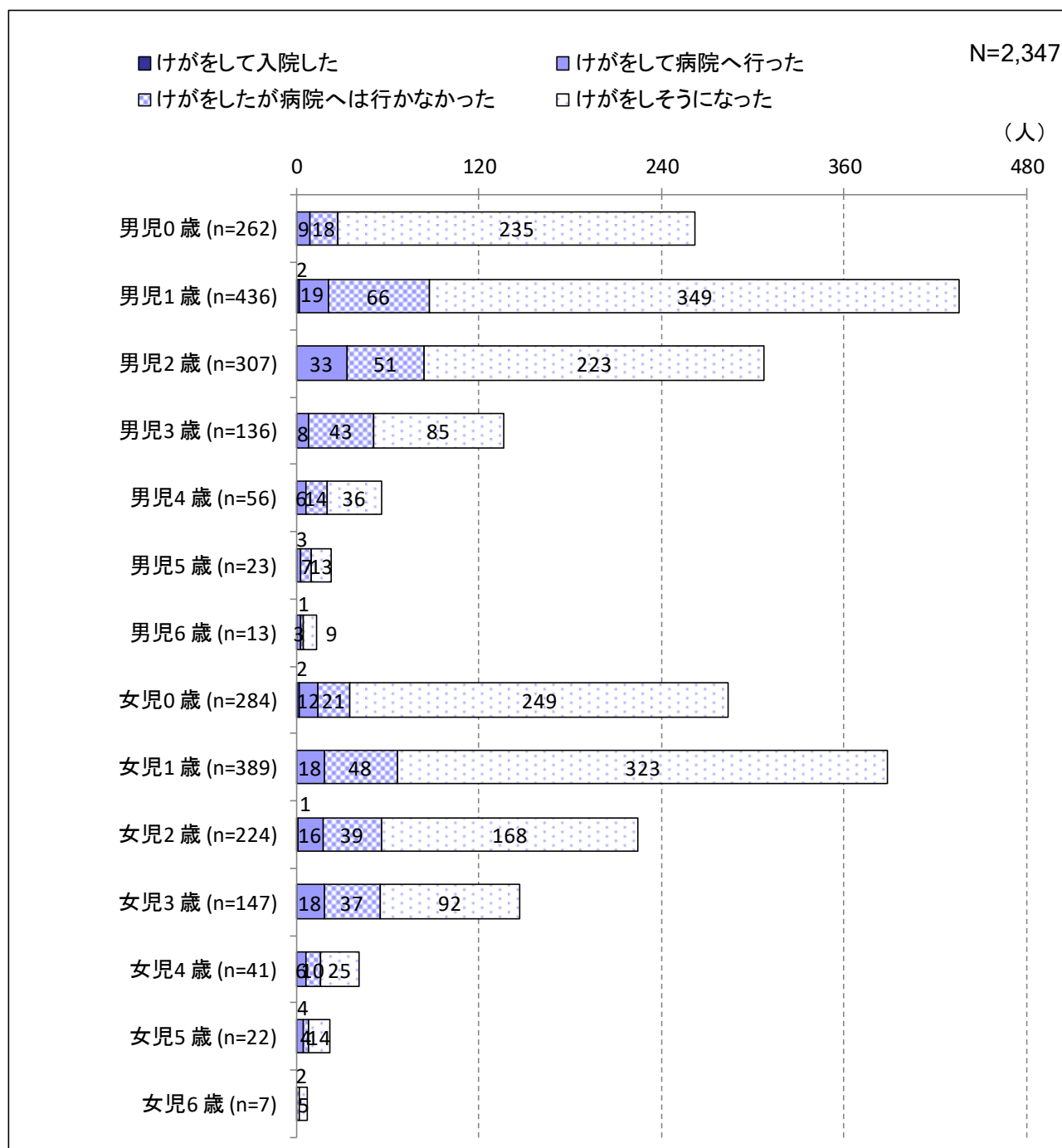


図 2_5. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（子供の性・年齢別）

3. 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 3_1 は、兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（出現数が 1 件の製品は「その他」とした）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 1,156 人（38.5%）であった。

製品別に見ると、「玩具類」が 548 人（47.4%）と最も多く、次いで「はさみ・刃物」が 382 人（33.0%）、「文具類」が 93 人（8.0%）と続く。

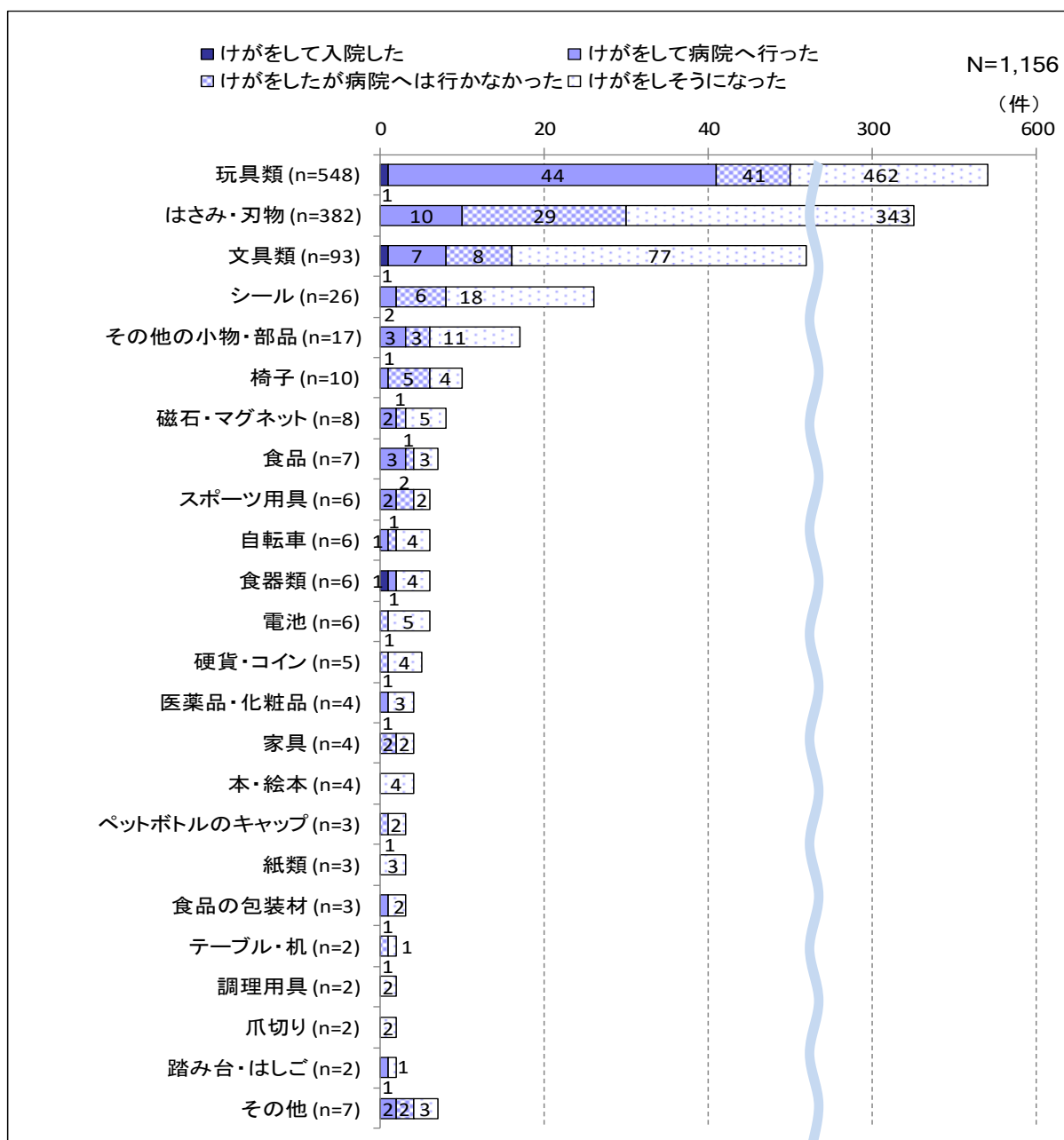


図 3_1. 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

表 3_1_1 は、兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 1,156 人のうち「誤飲」の事例が 573 人（49.6%）と最も多く、次いで「切った」が 397 人（34.3%）、「突いた・刺さった」55 人（4.8%）と続く。

「誤飲」に関わる製品としては「玩具類」が 454 人で最も多くなっている。「切った」では「はさみ・刃物」が 378 人となっている。「突いた・刺さった」については、「文具類」が 35 人と、最も多くなっている。

表 3_1_1. 兄や姉の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品別） (件)

	全 体	誤 飲	切 っ た	突 い た ・ 刺 さ っ た	物 を 詰 ま ら せ た	転 倒	ぶ つ け た	は さ ん だ	転 落	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	踏 ん だ	そ の 他
全 体	1156	573	397	55	26	22	15	13	10	9	5	31
玩具類	548	454	3	14	24	13	9	9	—	5	5	12
はさみ・刃物	382	—	378	—	—	—	—	—	—	—	—	4
文具類	93	41	9	35	—	—	—	1	—	—	—	7
シール	26	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の小物・部品	17	14	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
椅子	10	—	—	—	—	2	2	—	5	—	—	1
磁石・マグネット	8	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食品	7	4	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1
スポーツ用具	6	—	—	1	—	1	1	—	2	—	—	1
自転車	6	—	1	—	—	3	—	—	1	1	—	—
食器類	6	—	1	2	1	—	1	—	—	—	—	1
電池	6	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
硬貨・コイン	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医薬品・化粧品	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
家具	4	1	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
本・絵本	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ペットボトルのキャップ	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙類	3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
食品の包装材	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
テーブル・机	2	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
調理用具	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
爪切り	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
踏み台・はしご	2	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—
その他	7	—	—	1	—	3	1	1	1	—	—	—

表 3_1_2 は、子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハットを経験した製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 608 人と、女児の 548 人と比べ、60 人多くなっている。

「玩具類」の事例は、男児 299 人、女児 249 人と最も多い。年齢別に見てみると、男女ともに 0 歳～2 歳が多くなっている。

2 番目に多い「はさみ・刃物」については、男児・女児ともに、1 歳、2 歳が多くなっている。

表 3_1_2. 兄や姉の製品でのヒヤリ・ハット経験（製品×子供の性・年齢別）

(人)

		全 体	玩具類	はさみ・刃物	文具類	シール	その他の小物・部品	椅子	磁石・マグネット	食品	スポーツ用具	自転車	食器類	電池	硬貨・コイン	医薬品・化粧品	家具	本・絵本	その他
全 体		1156	548	382	93	26	17	10	8	7	6	6	6	6	5	4	4	4	24
子供の性別・年齢	男児合計	608	299	191	52	8	6	5	5	4	5	4	3	5	2	3	3	2	11
	男児0 歳	144	99	15	13	5	3	—	1	1	—	—	1	1	1	1	—	1	2
	男児1 歳	226	117	65	23	2	1	1	3	3	1	—	1	2	1	1	—	1	4
	男児2 歳	142	46	75	7	—	—	3	1	—	1	1	1	1	—	1	1	—	4
	男児3 歳	56	19	25	5	1	1	1	—	—	—	2	—	1	—	—	1	—	—
	男児4 歳	24	10	7	2	—	1	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	1
	男児5 歳	10	6	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児6 歳	6	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	女児合計	548	249	191	41	18	11	5	3	3	1	2	3	1	3	1	1	2	13
	女児0 歳	151	100	11	13	13	4	1	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	6
	女児1 歳	201	93	71	18	3	3	1	2	1	—	1	1	—	1	1	—	1	4
	女児2 歳	109	32	61	6	—	4	1	1	1	—	—	1	1	—	—	—	1	—
	女児3 歳	63	18	34	2	2	—	1	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	3
	女児4 歳	12	3	7	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児5 歳	9	2	5	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	3	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※この表における「その他」は、図 3_1 及び表 3_1_1 の「ペットボトルのキャップ」から「その他」までのものである。

(2) 「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_2 は、「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 548 人 (18.3%) であった。

製品別で見ると、「ブロック・積み木・パズル」が 130 人 (23.7%) と最も多く、次いで「ミニカー・ミニチュア・マスコット」が 50 人 (9.1%)、「ビー玉・おはじき・小さなボール」が 40 人 (7.3%) と続く。

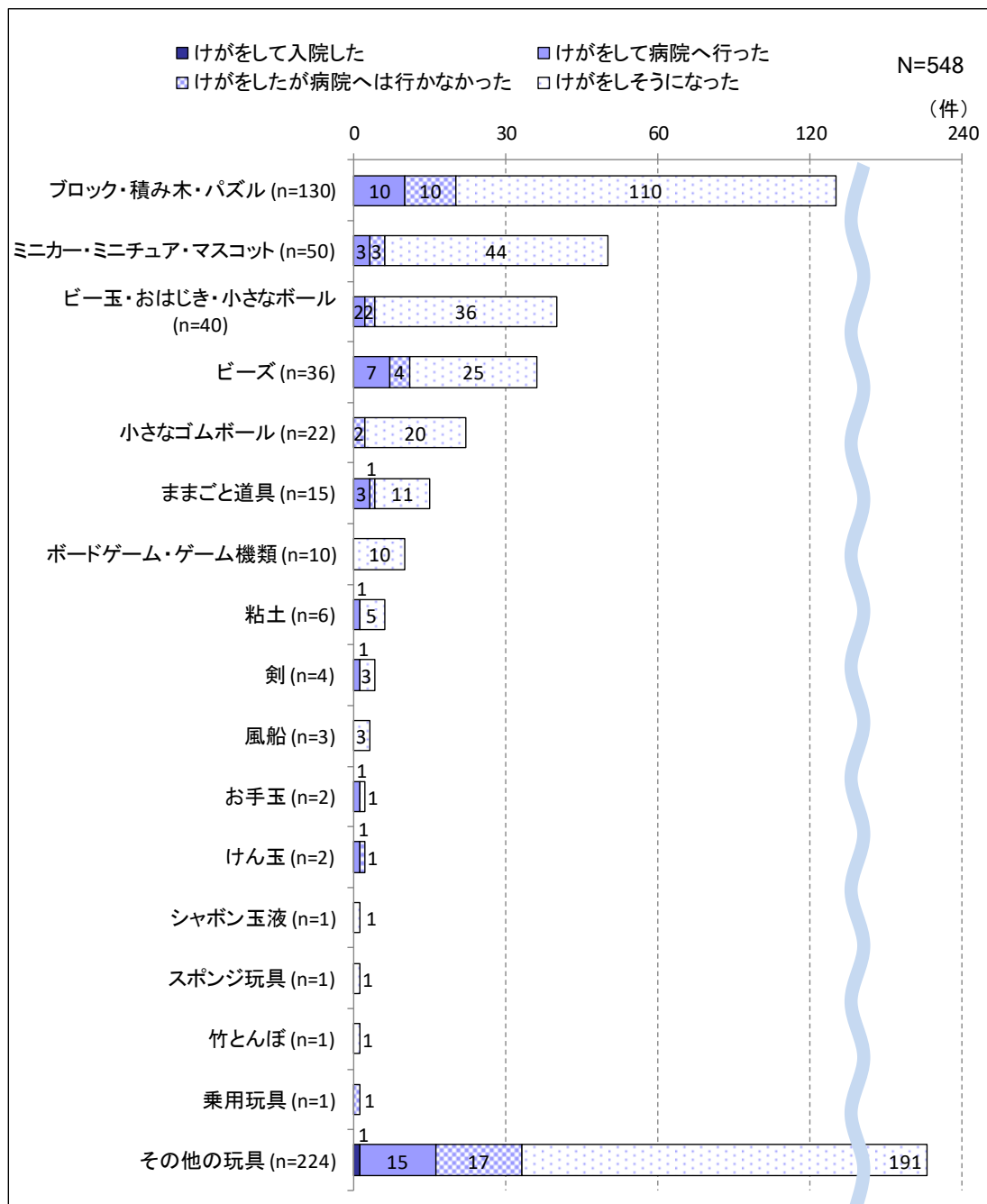


図 3_2 「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品別)

表 3_2_1 は、「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 548 人のうち「誤飲」の事例が 454 人 (82.8%) と最も多く、次いで「物を詰まらせた」が 24 人 (4.4%)、「突いた・刺さった」が 14 人 (2.6%) と続く。

「誤飲」に関わる製品としては「ブロック・積み木・パズル」が 111 人で最も多くなっている。「物を詰まらせた」では「ビーズ」が 14 人で、最も多くなっている。

表 3_2_1 「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×製品別)

(件)

玩具類	全 体	誤 飲	物 を 詰 ま ら せ た	突 い た ・ 刺 さ っ た	転 倒	は さ ん だ	ぶ つ け た	踏 ん だ	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	切 っ た	か ら ま っ た ・ 巻 き 付 い た	そ の 他
全 体	548	454	24	14	13	9	9	5	5	3	2	10
ブロック・積み木・パズル	130	111	7	-	3	1	2	3	-	1	-	2
ミニカー・ミニチュア・マスコット	50	42	-	1	3	1	1	-	-	-	1	1
ビー玉・おはじき・小さなボール	40	37	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ビーズ	36	22	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小さなゴムボール	22	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ままごと道具	15	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ボードゲーム・ゲーム機類	10	8	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
粘土	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剣	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
風船	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お手玉	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
けん玉	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
シャボン玉液	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
スポンジ玩具	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
竹とんぼ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
乗用玩具	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
その他の玩具	224	189	1	7	6	7	4	2	2	2	-	4

表 3_2_2 は、子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハットを経験した製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 299 人と、女児の 249 人と比べ、50 人多くなっている。

「ブロック・積み木・パズル」の事例は、男児 75 人、女児 55 人と最も多い。年齢別に見てみると、男児・女児ともに 0 歳、1 歳が多くなっている。

表 3_2_2 「玩具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験(製品×子供の性・年齢別)

		(人)																	
		全 体	ブロック・積み木・パズル	ミニカー・ミニチュア・マスコット	ビー玉・おはじき・小さなボール	ビーズ	小さなゴムボール	ままごと道具	ボードゲーム・ゲーム機類	粘土	剣	風船	お手玉	けん玉	シャボン玉液	スポンジ玩具	竹とんぼ	乗用玩具	その他の玩具
全 体		548	130	50	40	36	22	15	10	6	4	3	2	2	1	1	1	1	224
子供の性別・年齢	男児合計	299	75	25	18	18	13	7	8	3	4	1	－	1	－	－	－	1	125
	男児0 歳	99	20	5	6	4	6	3	3	－	1	－	－	－	－	－	－	－	51
	男児1 歳	116	32	12	5	7	3	4	3	1	－	1	－	－	－	－	－	1	47
	男児2 歳	46	14	6	3	2	2	－	1	2	1	－	－	－	－	－	－	－	15
	男児3 歳	19	5	－	4	3	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	－	－	4
	男児4 歳	11	2	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
	男児5 歳	6	1	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2
	男児6 歳	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女児合計	249	55	25	22	18	9	8	2	3	－	2	2	1	1	1	1	－	99
	女児0 歳	100	23	11	6	2	2	3	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	50
	女児1 歳	93	19	9	10	9	6	5	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	34
	女児2 歳	32	8	3	5	2	－	－	1	1	－	－	－	－	1	1	－	－	10
	女児3 歳	18	4	2	1	2	1	－	1	－	－	－	2	1	－	－	1	－	3
	女児4 歳	3	1	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女児5 歳	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	女児6 歳	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1

(3) 「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_3 は、「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、130 人であった。事例別に見ると「誤飲」が 111 人と 85%程度を占めている。

“危害経験がある”との回答は、「誤飲」では 11 人となっている。

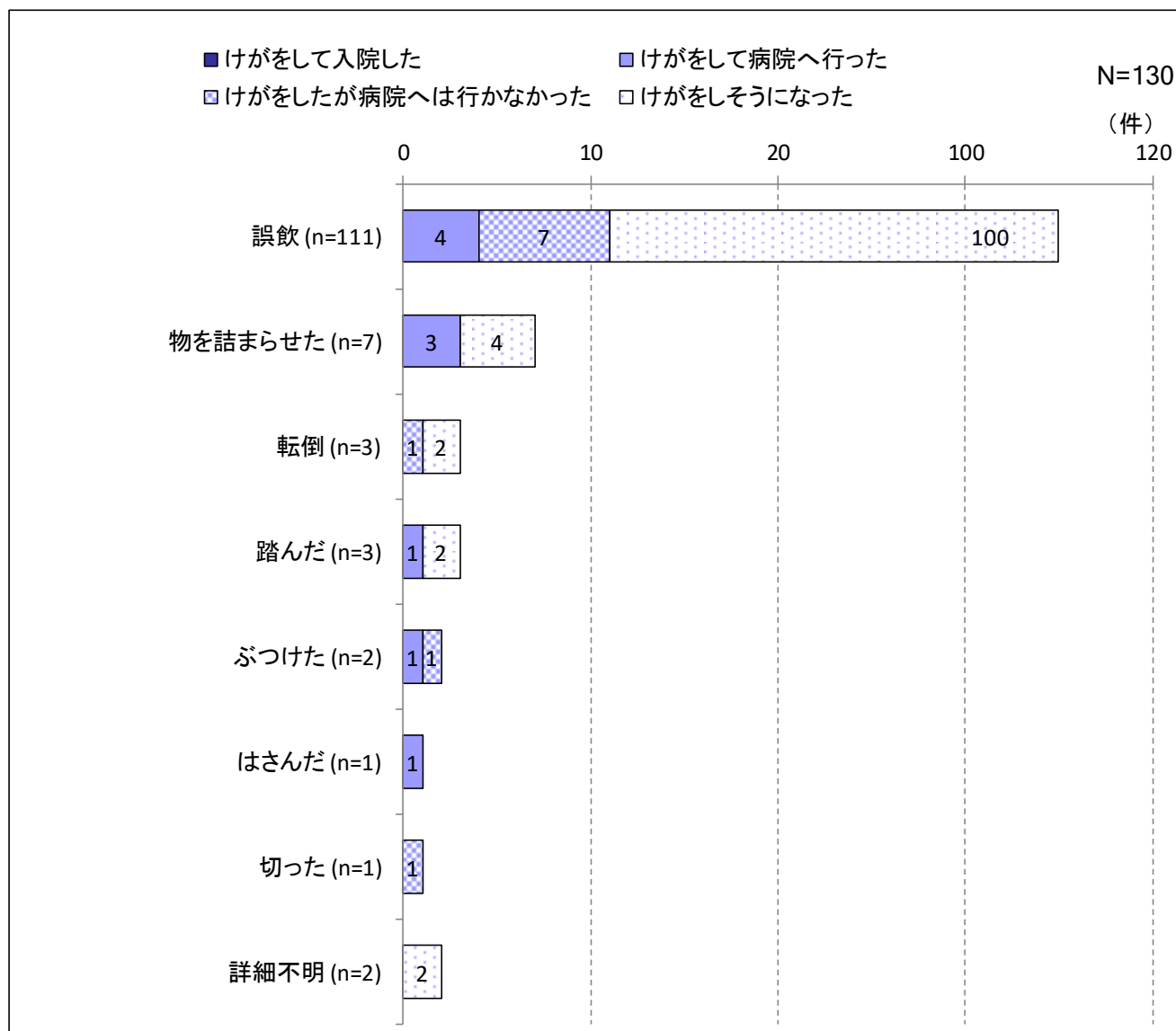


図 3_3 「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_3 は、「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 1 歳での事例が最も多く 32 人で、女児は 0 歳での事例が 23 人で最も多くなっている。

事例別に見ると、男児・女児ともに「誤飲」が大半を占めている。

**表 3_3 「ブロック・積み木・パズル」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	誤 飲	物 を 詰 ま ら せ た	転 倒	踏 ん だ	ぶ つ け た	は さ ん だ	切 っ た	詳 細 不 明
全 体		130	111	7	3	3	2	1	1	2
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	75	61	5	2	2	2	1	—	2
	男児0 歳	20	20	—	—	—	—	—	—	—
	男児1 歳	32	29	1	—	—	1	—	—	1
	男児2 歳	14	10	1	2	—	1	—	—	—
	男児3 歳	5	1	2	—	1	—	—	—	1
	男児4 歳	2	1	—	—	—	—	1	—	—
	男児5 歳	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	男児6 歳	1	—	1	—	—	—	—	—	—
	女児合計	55	50	2	1	1	—	—	1	—
	女児0 歳	23	23	—	—	—	—	—	—	—
	女児1 歳	19	18	—	—	1	—	—	—	—
	女児2 歳	8	7	1	—	—	—	—	—	—
	女児3 歳	4	2	1	—	—	—	—	1	—
	女児4 歳	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_4 は、「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、50 人であった。事例別に見ると「誤飲」が 42 人と 84%を占める。

“危害経験がある”との回答は、「誤飲」では 2 人となっている。

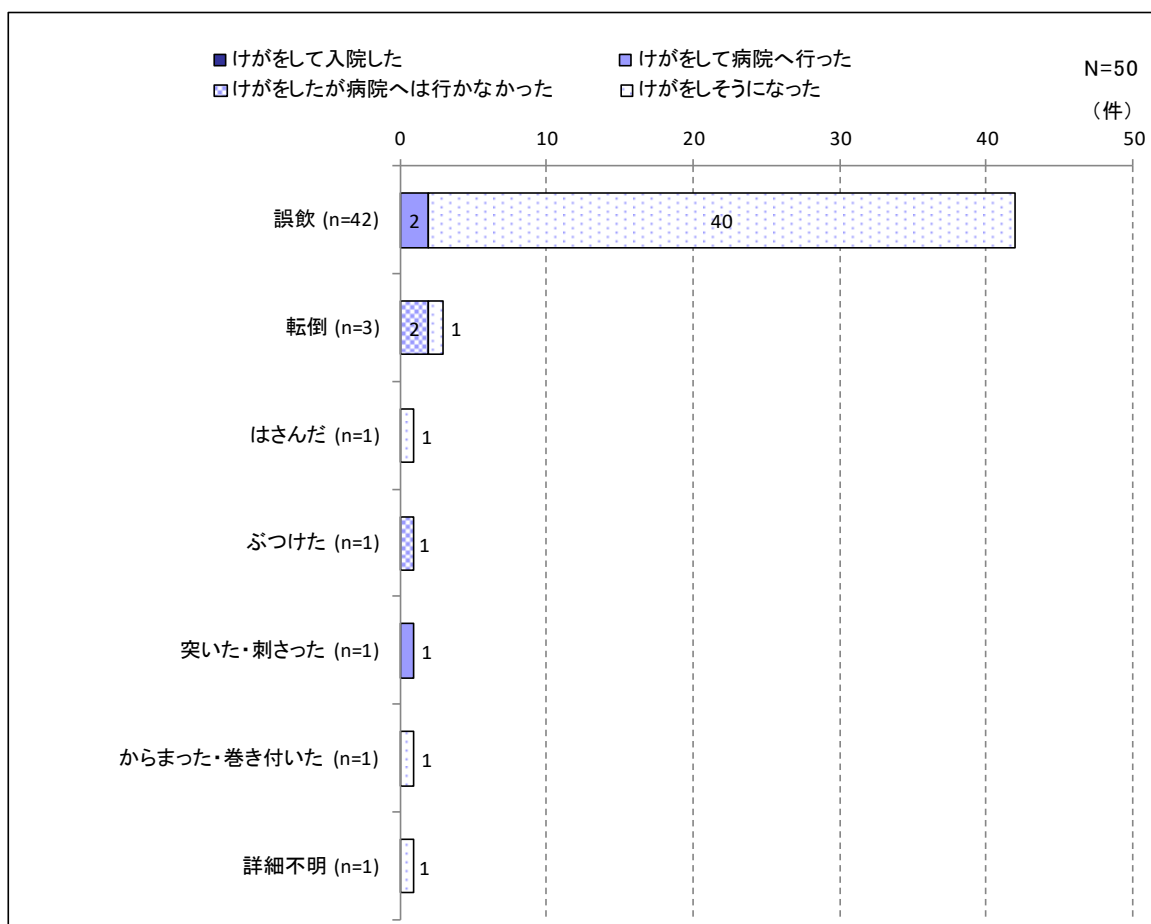


図 3_4 「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での
危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_4 は、「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに、0 歳～2 歳での事例が多い。

**表 3_4 「ミニカー・ミニチュア・マスコット」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	誤 飲	転 倒	は さん だ	ぶ つ け た	突 いた ・ 刺 さ った	か ら ま った ・ 巻 き 付 いた	詳 細 不 明
全 体		50	42	3	1	1	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	25	20	2	1	1	—	1	—
	男児0 歳	5	5	—	—	—	—	—	—
	男児1 歳	12	9	—	1	1	—	1	—
	男児2 歳	6	4	2	—	—	—	—	—
	男児3 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児4 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児5 歳	1	1	—	—	—	—	—	—
	男児6 歳	1	1	—	—	—	—	—	—
	女児合計	25	22	1	—	—	1	—	1
	女児0 歳	11	11	—	—	—	—	—	—
	女児1 歳	9	8	1	—	—	—	—	—
	女児2 歳	3	2	—	—	—	1	—	—
	女児3 歳	2	1	—	—	—	—	—	1
	女児4 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_5 は、「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、40 人であった。事例別に見ると「誤飲」が 37 人と最も多い。

“危害経験がある”との回答は、「誤飲」では 3 人見られた。

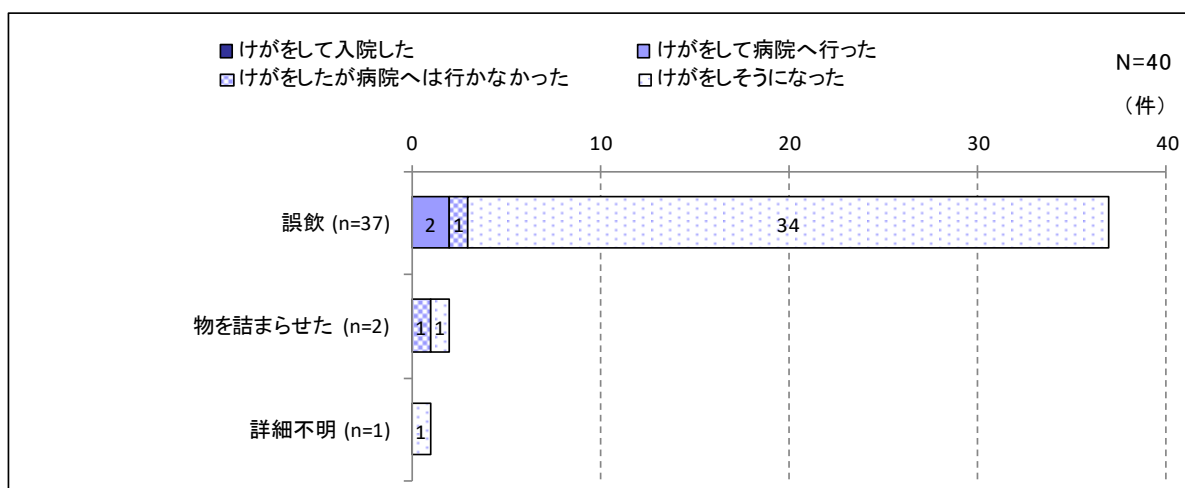


図 3_5 「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_5 は、「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 0 歳での事例が最も多く 6 人である。女児は 1 歳での事例が最も多く 10 人となっている。

**表 3_5 「ビー玉・おはじき・小さなボール」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	誤 飲	物 を 詰 ま ら せ た	詳 細 不 明
全 体		40	37	2	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	18	16	1	1
	男児0 歳	6	6	—	—
	男児1 歳	5	5	—	—
	男児2 歳	3	3	—	—
	男児3 歳	4	2	1	1
	男児4 歳	—	—	—	—
	男児5 歳	—	—	—	—
	男児6 歳	—	—	—	—
	女児合計	22	21	1	—
	女児0 歳	6	6	—	—
	女児1 歳	10	10	—	—
	女児2 歳	5	4	1	—
	女児3 歳	1	1	—	—
	女児4 歳	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—
	女児6 歳	—	—	—	—

(6) 「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_6 は、「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、382 人であった。事例別に見ると「切った」が 378 人とほぼすべてを占めている。

“危害経験がある”との回答は、「切った」では 39 人となっている。

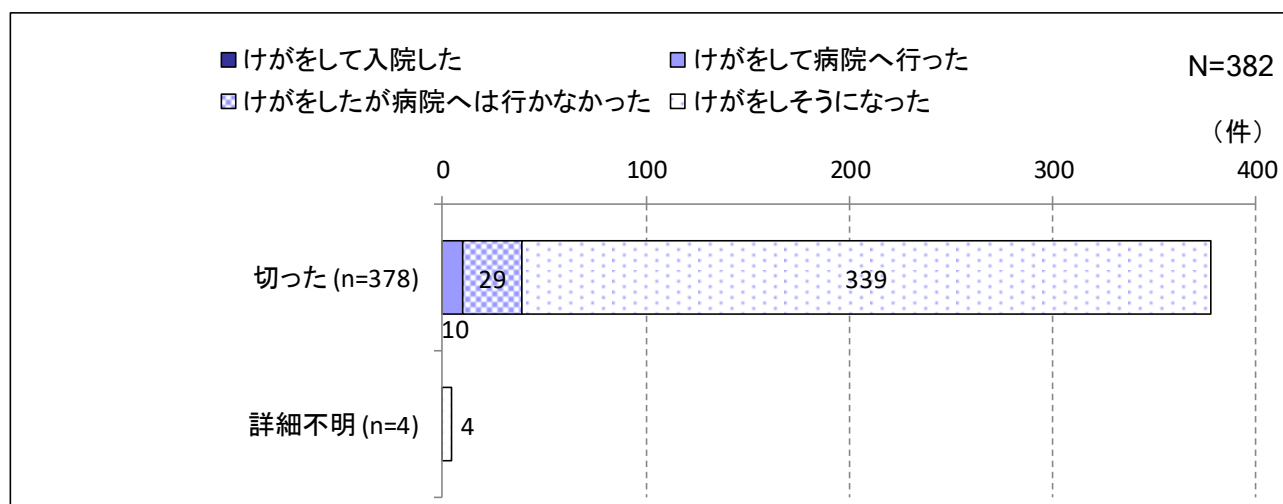


図 3_6 「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_6 は、「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 2 歳での事例が最も多く 75 人であるのに対して、女児は 1 歳での事例が 71 人と最も多くなっている。

事例別に見ると、男児・女児ともに「切った」がほぼすべてを占めている。

表 3_6 「はさみ・刃物」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)

(人)

		全 体	切 っ た	詳 細 不 明
全 体		382	378	4
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	191	187	4
	男児0 歳	15	14	1
	男児1 歳	65	64	1
	男児2 歳	75	75	－
	男児3 歳	25	25	－
	男児4 歳	7	6	1
	男児5 歳	4	3	1
	男児6 歳	－	－	－
	女児合計	191	191	－
	女児0 歳	11	11	－
	女児1 歳	71	71	－
	女児2 歳	61	61	－
	女児3 歳	34	34	－
	女児4 歳	7	7	－
	女児5 歳	5	5	－
	女児6 歳	2	2	－

(7) 「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_7 は「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 93 人 (3.1%) であった。製品別で見ると、「鉛筆・ペン・クレヨン類」が 50 人 (53.8%) と最も多く、次いで「消しゴム」11 人 (11.8%)、「テープ・テープカッター」が 10 人 (10.8%) と続く。

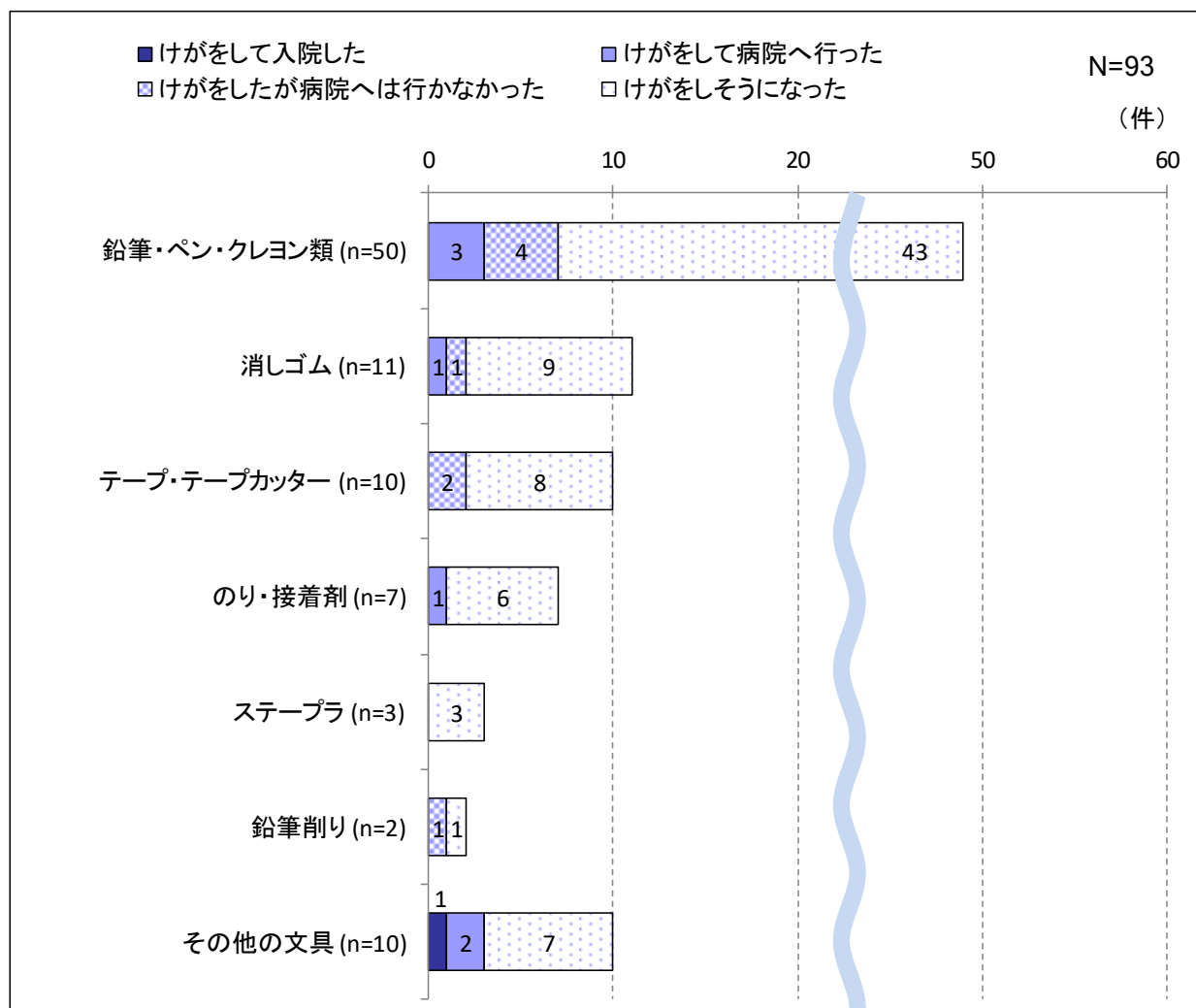


図 3_7 「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品別)

表 3_7_1 は、「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 93 人のうち「誤飲」の事例が 41 人 (44.1%) と最も多く、次いで「突いた・刺さった」が 35 人 (37.6%)、「切った」9 人 (9.7%) と続く。

「誤飲」に関わる製品としては「鉛筆・ペン・クレヨン類」が 16 人で最も多くなっている。「突いた・刺さった」についても、「鉛筆・ペン・クレヨン類」が 29 人と、最も多くなっている。

表 3_7_1 「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×製品別)

(件)

	全 体	誤 飲	突 いた ・ 刺 さ っ た	切 っ た	は さ ん だ	詳 細 不 明
全 体	93	41	35	9	1	7
鉛筆・ペン・クレヨン類	50	16	29	－	1	4
消しゴム	11	11	－	－	－	－
テープ・テープカッター	10	2	－	7	－	1
のり・接着剤	7	7	－	－	－	－
ステープラ	3	－	3	－	－	－
鉛筆削り	2	－	－	2	－	－
その他の文具	10	5	3	－	－	2

表 3_7_2 は、子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハットを経験した製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 52 人、女児の事例が 41 人となっている。

「鉛筆・ペン・クレヨン類」の事例は、男児 32 人、女児 18 人と最も多い。年齢別に見てみると、男児・女児ともに 0 歳、1 歳が多くなっている。

表 3_7_2 「文具類」での危害及びヒヤリ・ハット経験(製品×子供の性・年齢別)
(人)

		全 体	鉛 筆 ・ ペ ン ・ ク レ ヨ ン 類	消 し ゴ ム	テ ー プ ・ テ ー プ カ ッ タ ー	の り ・ 接 着 剤	ス テ ー プ ラ	鉛 筆 削 り	そ の 他 の 文 具
全 体		93	50	11	10	7	3	2	10
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	52	32	8	4	1	1	1	5
	男児0 歳	13	9	2	1	—	—	—	1
	男児1 歳	23	17	3	2	1	—	—	—
	男児2 歳	7	1	2	—	—	—	1	3
	男児3 歳	5	4	—	1	—	—	—	—
	男児4 歳	2	—	—	—	—	1	—	1
	男児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児6 歳	2	1	1	—	—	—	—	—
	女児合計	41	18	3	6	6	2	1	5
	女児0 歳	13	5	2	1	2	—	—	3
	女児1 歳	18	9	1	3	3	1	1	—
	女児2 歳	6	2	—	1	1	—	—	2
	女児3 歳	2	1	—	—	—	1	—	—
	女児4 歳	2	1	—	1	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	—	—	—	—	—	—	—	—

(8) 「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_8 は、「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、50 人であった。事例別に見ると「突いた・刺さった」が 29 人と最も多く、以下「誤飲」が 16 人で続いている。

“危害経験がある”との回答は、「突いた・刺さった」では 5 人見られた。

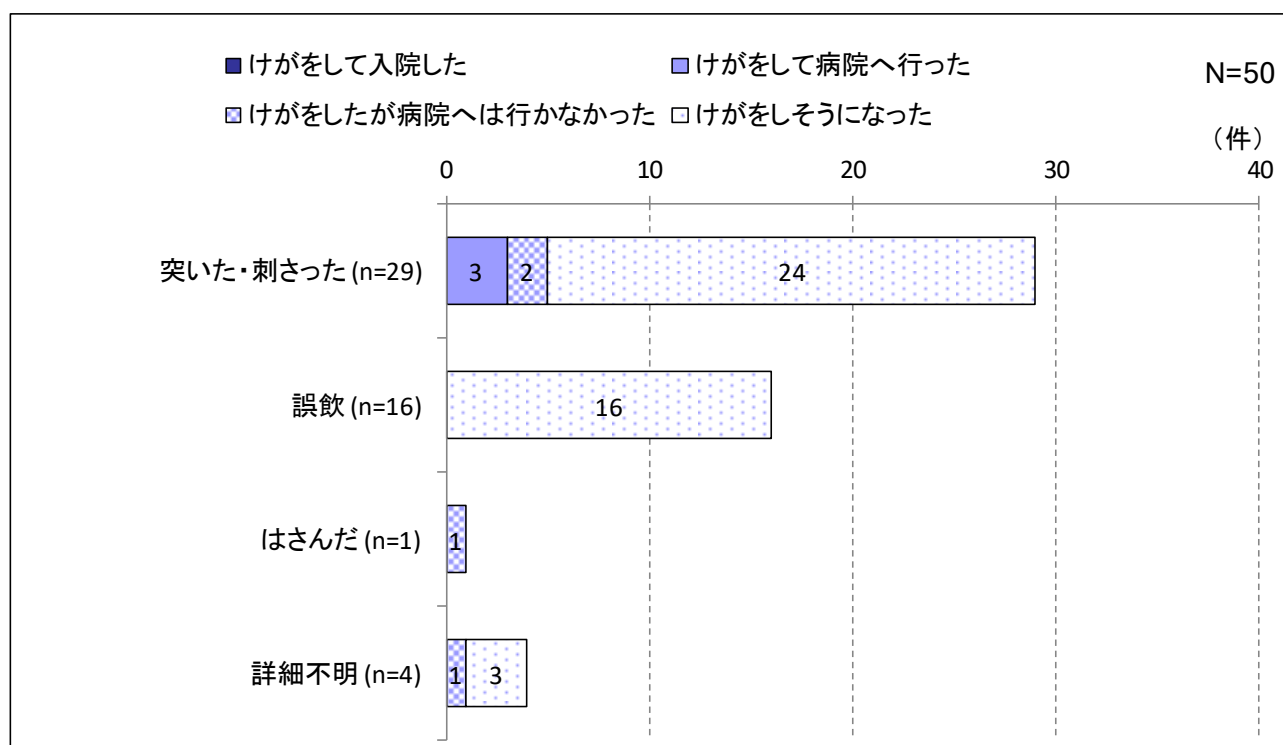


図 3_8 「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_8 は、「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに 1 歳での事例が最も多く、男児 17 人、女児 9 人となっている。

表 3_8 「鉛筆・ペン・クレヨン類」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)

		(人)				
		全 体	突 いた ・ 刺 さ つ た	誤 飲	は さ ん だ	詳 細 不 明
全 体		50	29	16	1	4
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	32	19	10	1	2
	男児0 歳	9	4	4	－	1
	男児1 歳	17	11	6	－	－
	男児2 歳	1	1	－	－	－
	男児3 歳	4	2	－	1	1
	男児4 歳	－	－	－	－	－
	男児5 歳	－	－	－	－	－
	男児6 歳	1	1	－	－	－
	女児合計	18	10	6	－	2
	女児0 歳	5	1	2	－	2
	女児1 歳	9	5	4	－	－
	女児2 歳	2	2	－	－	－
	女児3 歳	1	1	－	－	－
	女児4 歳	1	1	－	－	－
	女児5 歳	－	－	－	－	－
	女児6 歳	－	－	－	－	－

(9) 「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_9 は、「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、11 人であった。事例別に見ると「誤飲」が全件を占める。

“危害経験がある”との回答は、2 人見られた。

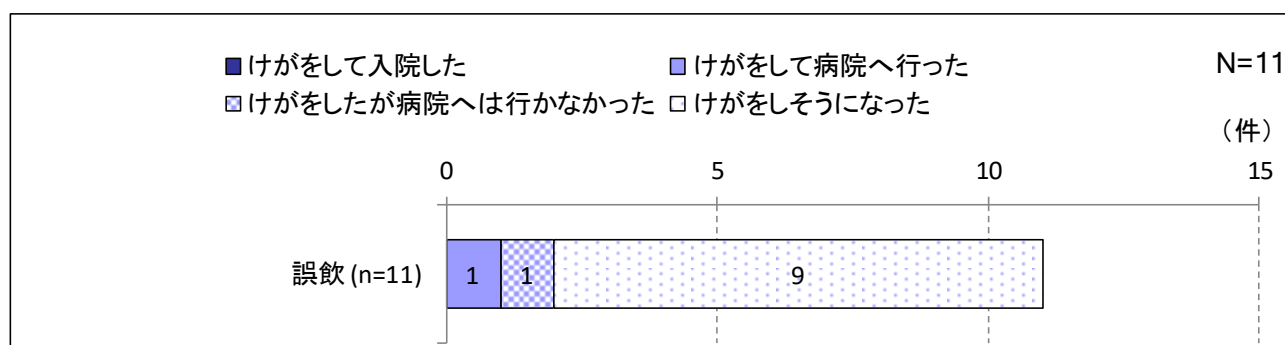


図 3_9 「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 3_9 は、「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。3 歳以降は事例が見られなかった。

表 3_9 「消しゴム」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)
(人)

		全 体	誤 飲
全 体		11	11
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	8	8
	男児0 歳	2	2
	男児1 歳	3	3
	男児2 歳	2	2
	男児3 歳	—	—
	男児4 歳	—	—
	男児5 歳	—	—
	男児6 歳	1	1
	女児合計	3	3
	女児0 歳	2	2
	女児1 歳	1	1
	女児2 歳	—	—
	女児3 歳	—	—
	女児4 歳	—	—
	女児5 歳	—	—
	女児6 歳	—	—

(10) 「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_10 は、「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験は兄や姉の製品における経験者 1,156 人のうち、10 人であった。事例別に見ると、「切った」が 7 人と最も多く、以下「誤飲」が 2 人で続いている。

“危害経験がある”との回答は、「切った」で 2 人見られた。

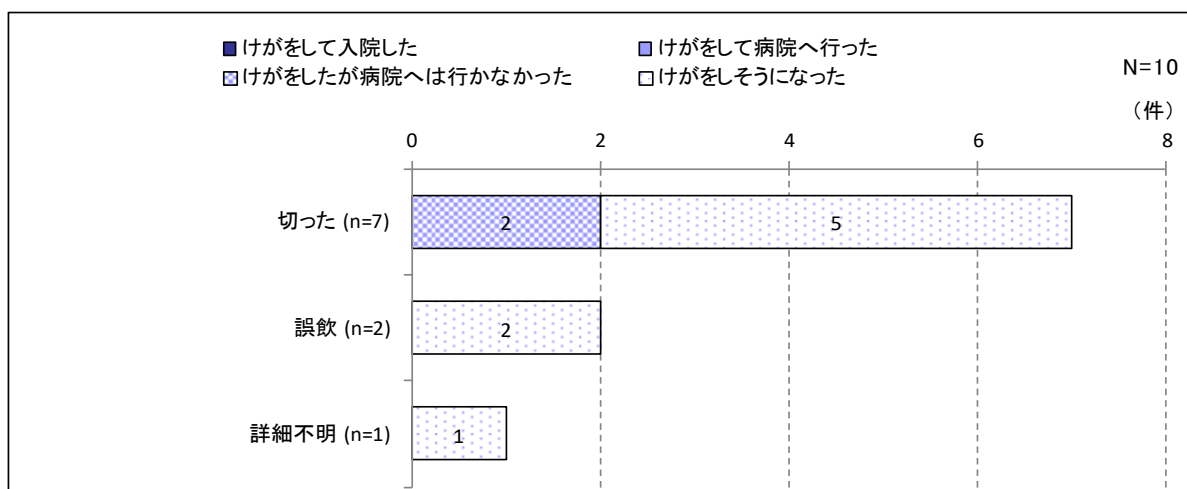


図 3_10 「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_10 は、「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。「誤飲」についてはすべてが 1 歳以下の事例となっている。

**表 3_10 「テープ・テープカッター」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

		全 体	切 っ た	誤 飲	詳 細 不 明
全 体		10	7	2	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	4	3	1	－
	男児0 歳	1	－	1	－
	男児1 歳	2	2	－	－
	男児2 歳	－	－	－	－
	男児3 歳	1	1	－	－
	男児4 歳	－	－	－	－
	男児5 歳	－	－	－	－
	男児6 歳	－	－	－	－
	女児合計	6	4	1	1
	女児0 歳	1	－	－	1
	女児1 歳	3	2	1	－
	女児2 歳	1	1	－	－
	女児3 歳	－	－	－	－
	女児4 歳	1	1	－	－
	女児5 歳	－	－	－	－
	女児6 歳	－	－	－	－

(11) 詳細事例

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
1	はさみ・刃物	切った	女兒 0 歳	年中の兄が工作に使ったはさみを床に置きっぱなしにして、それを 8 ヶ月の妹が拾い、刃先をなめていた。
2	はさみ・刃物	切った	男児 1 歳	上の子が、下の子が届かないようにテーブルで使っていたが、下の子が椅子を使つてのぼり、はさみを触りそうになった。
3	はさみ・刃物	切った	女兒 1 歳	兄がはさみを使っているときに、下の子が手を出して触ろうとして、指を少しはさみで切ってしまった。
4	はさみ・刃物	切った	男児 2 歳	姉の使っているはさみを持ち、両手でシャキシャキはさみを開閉して遊んでいた。
5	はさみ・刃物	切った	女兒 3 歳	兄が使っているのを真似しようとして勝手に使い、指を切りそうになった。
6	はさみ・刃物	切った	男児 4 歳	上の子が使っていたカッターをいつのまにか手にして、反対に持ってしまい、指を深く切ってしまった。
7	その他の玩具	誤飲	男児 0 歳	床に落ちていた兄のおもちゃを、0 歳の弟が手に取り口に入れそうになったので取り上げた。対象年齢 3 歳からのおもちゃだった。
8	その他の玩具	誤飲	女兒 0 歳	ちょうど上の子が細かいおもちゃで遊ぶのが好きな時期、下の子は何でも口に持っていきってしまう時期だったので、注意はしていたのですが、床に落ちていた細かいおもちゃを下の子が見つけて持っていたので、急いで取り上げました。
9	その他の玩具	誤飲	男児 1 歳	テーブルで使用していた姉のおもちゃを 1 歳の弟が口に入れた。すぐに口から取り出したので問題はなかった。対象年齢 6 歳からのおもちゃでした。
10	その他の玩具	突いた・刺さった	男児 2 歳	小学生の兄のおもちゃを持ったまま、子供椅子からジャンプして口の中に棒がささった。
11	その他の玩具	転倒	男児 0 歳	兄の持っている飛行機のおもちゃが床に置いてあり、弟が転んで、床のおもちゃに当たりそうになった。
12	その他の玩具	はさんだ	女兒 2 歳	部品同士の継ぎ目の部分に皮膚がはさまった。
13	ブロック・積み木・パズル	誤飲	男児 1 歳	床に落ちていたブロックを口に入れていた。姉のおもちゃだった。対象年齢 6 歳以上のおもちゃだった。
14	ブロック・積み木・パズル	誤飲	女兒 1 歳	お兄ちゃんがパズルをしているときにパズルのピースを食べてしまった。
15	ブロック・積み木・パズル	物を詰ませた	女兒 3 歳	兄のブロックを耳の中に入れてしまい、耳が痛いと言っていた。鼓膜が傷ついたかもしれないので病院でみてもらった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
16	ミニカー・ミニチュア・マスコット	誤飲	男児 1 歳	兄が4歳で弟が1歳当時、キャラクターの小さい人形を何個か出して遊んでいたが、気づいたときに一つなくなっており、下の子の口の中から出てきた。飲み込めないギリギリのサイズだったので事なきを得た。
17	ミニカー・ミニチュア・マスコット	誤飲	女児 0 歳	姉が片づけ忘れたお人形用のティーカップの小さなおもちゃを0歳の妹が飲み込んでしまい一瞬苦しうに泣いたが少しして、便と一緒に出てきた。対象年齢は、3歳位のおもちゃだった。
18	鉛筆・ペン・クレヨン類	誤飲	女児 1 歳	5歳の姉が工作をしている最中に、1歳の妹が机の上にあるクレヨン等に手を伸ばし口に運んでいた。
19	鉛筆・ペン・クレヨン類	突いた・刺さった	男児 0 歳	上の子がお絵かきをしているところに下の子が来て、色鉛筆の尖っている方を口に入れていた。
20	鉛筆・ペン・クレヨン類	突いた・刺さった	男児 1 歳	小学生だった長男が床に落とした鉛筆を、赤ちゃんだった次男が口に入れ、上あごに芯がささってしまった。
21	鉛筆・ペン・クレヨン類	突いた・刺さった	女児 2 歳	4歳の兄が使っていた鉛筆がテーブルの上に置いてあり、2歳の妹がその鉛筆を持って歩き転びそうになった。
22	ビー玉・おはじき・小さなボール	誤飲	女児 0 歳	長女が幼稚園年長のとき、遊んでいたおはじきが床に散らばっており、次女(当時0歳)が近寄って行ったので慌てて片づけた。怖くなり、長女には申し訳ないが次女が大きくなって口に入れなくなるまでは、口に入りそうなサイズのおもちゃは全て撤去した。
23	ビー玉・おはじき・小さなボール	物を詰まらせた	女児 2 歳	床に落ちていた兄の小さなビー玉を、2歳の妹が鼻の穴に詰めていた。すぐに気がついて取ったが、気づかずに奥まで入っていたらと思うと怖い。
24	ビーズ	誤飲	男児 3 歳	小学生の姉と友達が高さのあるテーブルの上で、水で膨らむビーズで遊んでいたとき、たまたま落ちていたビーズを3歳の弟が口に入れて飲み込んでしまった。調べたら胃のなかで膨らむ可能性があるもので、腸閉塞を起こした事例もあり大変心配だったが、その後何もなくて良かった。
25	ビーズ	誤飲	女児 3 歳	どんどん中に入っていってしまい救急車が来ても取れず、最悪の場合、気道に落ちてふさぐと呼吸困難になるというので病院に。なんとか取れましたが4～5人がかりで、もう少しで全身麻酔するところでした。
26	ビーズ	物を詰まらせた	男児 2 歳	落ちていたビーズを鼻の穴に入れて取れなくなり(湿気で鼻の奥にくっついてしまい)耳鼻科で取ってもらった。
27	ビーズ	物を詰まらせた	女児 4 歳	姉のビーズを耳に入れて取れなくなった。病院でとってもらった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
28	シール	誤飲	男児 0 歳	夕食準備中、上のお姉ちゃんが着せ替えシールで遊んでいて、服の形の硬いシールを下の子が誤飲してしまい、喉に引っかかって吐き出し、血の混ざった泡を吐いていた。
29	シール	誤飲	女児 0 歳	床に落ちていたシールを口に入れて窒息しそうになった。
30	小さなゴムボール	誤飲	女児 0 歳	4 歳の兄がお風呂に小さなゴムボールを浮かべて遊んでいたところ、0 歳の妹がてを伸ばし、口に入れようとしていたので取り上げた。
31	小さなゴムボール	誤飲	男児 1 歳	お兄ちゃんが縁日で取ってきたものを転がしてしまい、拾った弟が口に入れていた。何か口に入っているのに気づいたので、優しく、出そうね、とお願いしたら出してくれたので事なきを得た。
32	その他の小物・部品	誤飲	男児 0 歳	遊びながらいきなり咳き込み出し、何かを吐き出そうとし唾液から出血までして苦しんでいたもので、病院で見もらったが、様子が落ち着きその後、様子を見ていたら、工作の固めのビニールを吐き出した。二日後には大量のビニールが便と一緒に出てきた。
33	その他の小物・部品	突いた・刺さった	男児 3 歳	姉が家庭科の縫物をしていたときに、3 歳の弟が、たまたま落とした針を踏んでしまい大泣きして、急いで見てみたら、足の裏に刺さった痕があり、急いで消毒した。
34	ままごと道具	誤飲	男児 0 歳	一緒に遊んでいたおままごとのおもちゃをなめていたら、マジックテープがはずれ誤って飲み込んでしまった。
35	ままごと道具	誤飲	女児 1 歳	食べ物だと思って口に入れた。
36	消しゴム	誤飲	男児 2 歳	匂い付きの消しゴムが机の上に置いてあり、いい匂いがするので食べ物と勘違いして食べそうになった。
37	消しゴム	誤飲	男児 6 歳	学生の姉が宿題で使っていたお花のような香り付きの消しゴムを、下の子が口に入れようとしていた。
38	ボードゲーム・ゲーム機類	誤飲	男児 0 歳	すごろくの駒を口に入れていて、むせていたので確認して慌てて取り出した。
39	ボードゲーム・ゲーム機類	誤飲	女児 3 歳	姉が遊んでいたすごろくのサイコロを口に入れた。咳き込んで吐き出したので無事だったがヒヤリとした。
40	テープ・テープカッター	切った	男児 3 歳	上の子が工作でテープ台を使っていました。下の子も真似をしてテープを取ろうとして、テープを切る金属部分に指を当てたまま力を入れてしまい、血が出ました。すぐに血が止まり、絆創膏を貼っておく程度の傷だったので病院へは行きませんでした。がヒヤリとしました。
41	その他の文具	誤飲	女児 0 歳	プラスチック製の付せんを口に入れ、泣いた反動で気管支まで入ってしまった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
42	その他の文具	突いた・刺さった	男児 2 歳	小学生の兄が算数の宿題でコンパスを使用中、席を外したとき、口や目に近づけてじっと見ていた。
43	磁石・マグネット	誤飲	女児 2 歳	兄が小学校で使った磁石の実験キットを、妹が勝手に開けて磁石を口に入れていたので、慌てて取り上げた。
44	のり・接着剤	誤飲	女児 1 歳	3 歳の息子が使っていたスティックのりのキャップを口に入れようとしていた。
45	食品	やけど	女児 5 歳	姉が飲んでいた味噌汁を見て、そんなに熱いものではないと思ったらしく、一気に飲もうとしてやけどをしそうになった。
46	電池	誤飲	男児 1 歳	小学生の兄のおもちゃのラジコンの蓋を開けて電池を口に入れようとしていた。
47	粘土	誤飲	男児 2 歳	4 歳の姉が作った粘土の丸い形の固まったものを飴を食べるように 2 歳児の弟が口に入れていた。
48	食器類	切った	女児 2 歳	姉のコップを 2 歳の妹が飲むとき噛んでガラスが割れた。
49	自転車	切った	男児 3 歳	停めてあった子供用自転車のタイヤを、下の子が回して遊んで指をけがした。
50	スポーツ用具	転倒	男児 1 歳	上の子がトランポリンで飛んでいる間に一緒に乗ろうとしたが乗れず転がってしまい眉間を切ってしまった。
51	硬貨・コイン	誤飲	男児 0 歳	小学生のお兄ちゃんがテーブルの上に自動販売機にジュースを買いに行ってお釣りを置いておいたら、下の子がつかみ食べそうになった。
52	本・絵本	誤飲	男児 1 歳	上の子(当時 3 歳)が読んでいた絵本を、下の子(当時 1 歳)が破り口の中に入れてしまった。
53	医薬品・化粧品	誤飲	女児 1 歳	兄が病院でもらった錠剤の薬を飲もうとしていたときに、一歳の妹が横から錠剤を取り飲みそうになった。
54	剣	突いた・刺さった	男児 0 歳	剣で遊んでいる兄を真似て、剣を先から喉に入れて立とうとしていた。
55	食品の包装材	誤飲	女児 0 歳	姉が飲もうとした飲み物を取り、歯でふたのフィルムを噛みちぎり飲み込んでしまった。呼吸に問題はなかったが、引っ掛かっている様子があり、受診した。
56	風船	誤飲	男児 1 歳	幼稚園児の兄が風船で遊んでいたら、下の子が風船の結び目を噛みちぎって飲み込んでしまった。数日後、便と共に排泄された。
57	ペットボトルのキャップ	切った	女児 0 歳	姉が置いていたペットボトルのキャップを当時 0 歳の妹が手に取り、口に入れた状態で顔から転び、口を切るけがをした。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
58	ステープラ	突いた・刺さった	男児 4 歳	中学生の上の子が、学校のレポート提出のためにステープラを使っていた。使ったことのない年中の下の子が、気づかないうちにステープラを触っていて、思わず握ったときにステープラの穴から出てきた刃が、手に突き刺さりそうになった。
59	鉛筆削り	切った	女兒 1 歳	鉛筆削りの穴に指を入れて切ってしまった。
60	けん玉	からまった・巻き付いた	女兒 3 歳	兄がけん玉をふりまわしていたので、妹の指に糸がからまってしまった。
61	スポンジ玩具	誤飲	女兒 2 歳	切れ目が入っていた人形を口に入れ、ちぎれた破片を飲み込みそうになった。
62	乗用玩具	転倒	男児 1 歳	兄の車に乗ろうとして、バランスを崩し、頭から床に倒れてしまった。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

4. 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 4_1 は、年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（出現数が 1 件の製品は「その他」とした）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 505 人 (16.8%) であった。製品別に見ると、「ベビーカー」が 338 人 (66.9%) と最も多く、次いで、「ベビーゲート」71 人 (14.1%)、「バウンサー」18 人 (3.6%) と続く。

“危害経験がある” との回答は、「ベビーカー」が 36 人と最も多く、次いで「ベビーゲート」が 18 人と続く。

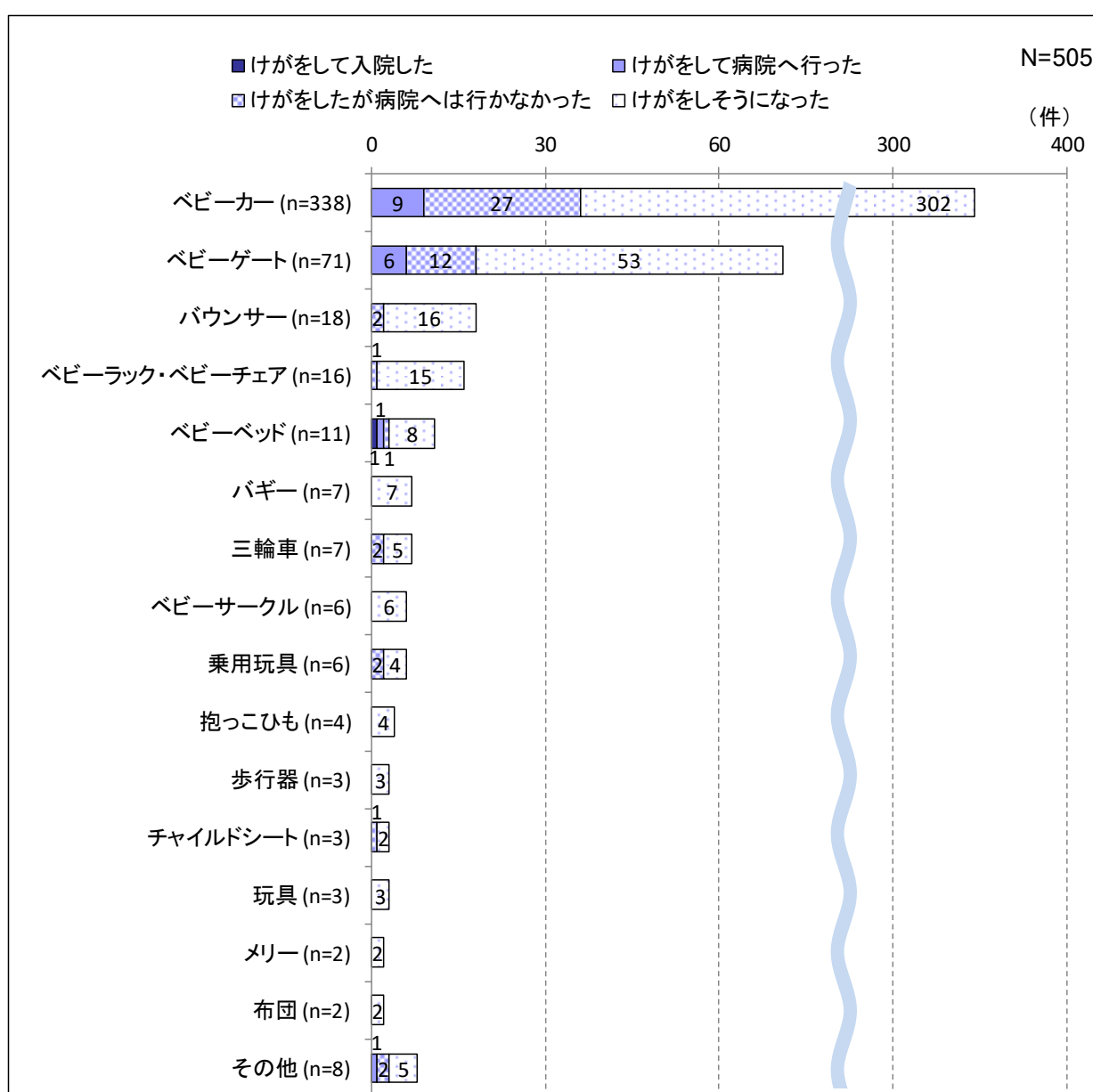


図 4_1. 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

表 4_1_1 は、年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 505 人のうち「転倒」の事例が 294 人（58.2%）と最も多く、次いで「転落」が 78 人（15.4%）、「ぶつけた」39 人（7.7%）と続く。

「転倒」に関わる製品としては「ベビーカー」が 254 人で最も多い。「転落」では「ベビーゲート」が 37 人となっている。「ぶつけた」については、「ベビーカー」が 31 人となっている。

表 4_1_1. 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品別）（件）

	全 体	転 倒	転 落	ぶ つ け た	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	は さ ん だ	バ ラ ン ス を 崩 し た	踏 ま れ た	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	や け ど	そ の 他
全 体	505	294	78	39	28	13	10	8	7	5	1	22
ベビーカー	338	254	19	31	12	1	7	－	－	－	－	14
ベビーゲート	71	6	37	1	14	11	－	－	－	－	－	2
バウンサー	18	7	4	－	1	－	1	2	1	－	－	2
ベビーラック・ベビーチェア	16	7	6	1	－	－	1	－	1	－	－	－
ベビーベッド	11	1	5	1	－	1	－	2	－	－	－	1
バギー	7	6	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
三輪車	7	6	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
ベビーサークル	6	1	1	－	－	－	－	2	2	－	－	－
乗用玩具	6	1	2	－	－	－	1	2	－	－	－	－
抱っこひも	4	2	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－
歩行器	3	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1
チャイルドシート	3	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－
玩具	3	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－
メリー	2	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－
布団	2	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－
その他	8	2	－	1	－	－	－	－	－	2	1	2

表 4_1_2 は、子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハットを経験した製品を比較した結果である。

全体として、男児の事例が 263 人と、女児の 242 人と比べ多くなっている。

「ベビーカー」の事例は、男児が 172 人、女児が 166 人と最も多い。年齢別にみると、男児・女児ともに 1 歳が最も多い。

表 4_1_2. 年下の乳幼児の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（製品×子供の性・年齢別）

(人)

		全 体	ベ ビ ー カ ー	ベ ビ ー ゲ ー ト	バ ウ ン サー	ベ ビ ー ラ ック ・ ベ ビ ー チェ ア	ベ ビ ー ベ ッド	バ ギ ー	三 輪 車	ベ ビ ー サー クル	乗 用 玩 具	抱 っ こ ひ も	歩 行 器	チャ イル ド シ ート	玩 具	メ リ ー	布 団	そ の 他
全 体		505	338	71	18	16	11	7	7	6	6	4	3	3	3	2	2	8
子供の性別・年齢	男児合計	263	172	38	12	8	5	4	5	3	2	2	1	2	3	1	1	4
	男児0 歳	79	42	6	11	6	5	2	1	1	1	-	-	-	1	1	1	1
	男児1 歳	107	75	21	1	1	-	-	1	2	1	2	1	-	1	-	-	1
	男児2 歳	49	34	9	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男児3 歳	16	13	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	男児4 歳	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1
	男児5 歳	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男児6 歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女児合計	242	166	33	6	8	6	3	2	3	4	2	2	1	-	1	1	4
	女児0 歳	83	53	6	6	4	6	-	-	1	1	-	2	1	-	-	1	2
	女児1 歳	98	70	19	-	4	-	-	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-
	女児2 歳	32	22	5	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
	女児3 歳	23	17	2	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1
	女児4 歳	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女児5 歳	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女児6 歳	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_2 は、「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、年下の乳幼児の製品における経験者 505 人のうち、338 人であった。事例別に見ると「転倒」が 254 人と最も多く、「ぶつけた」31 人、「転落」19 人と続いている。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」では 25 人となっている。

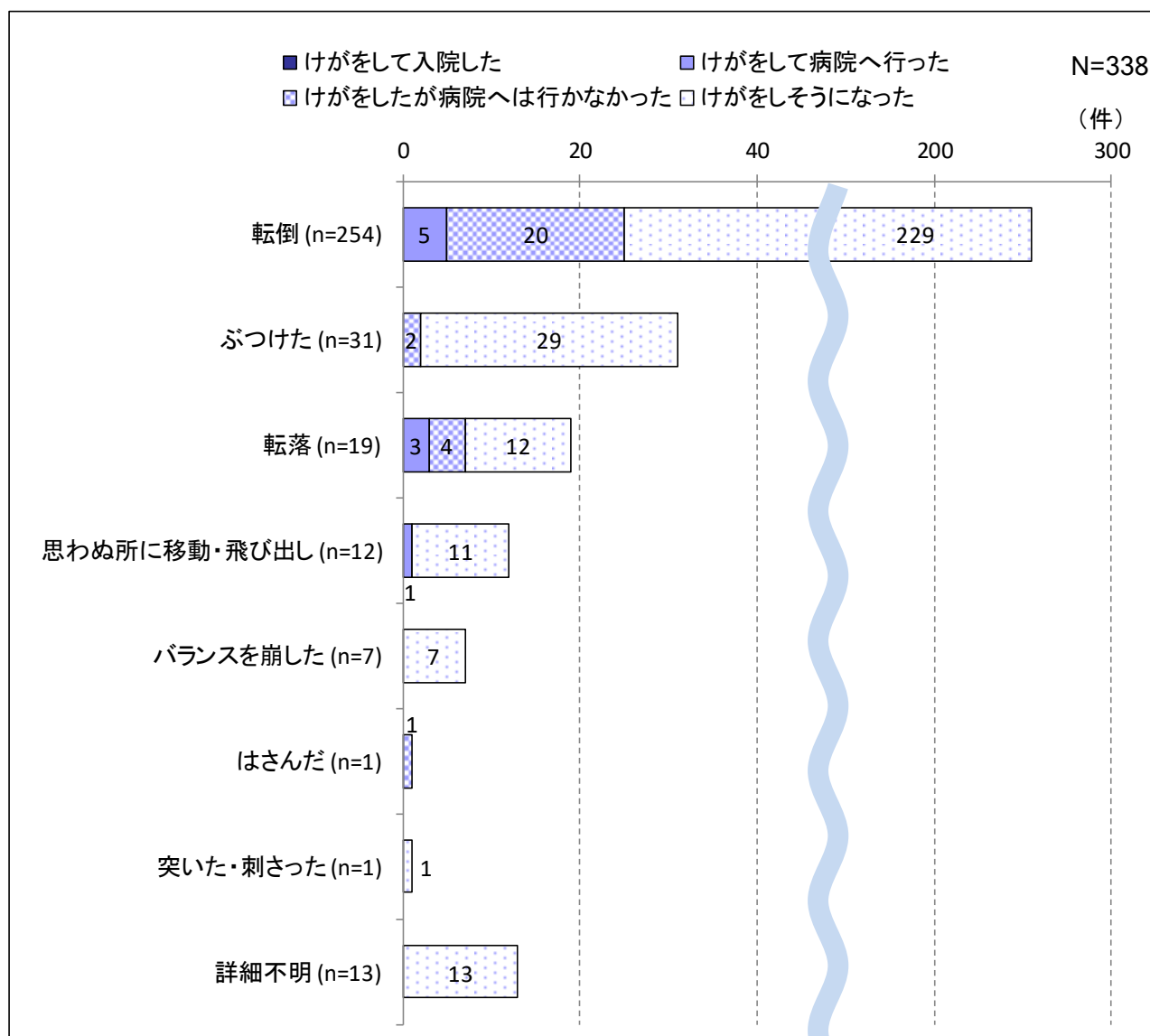


図 4_2. 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4_2 は、「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに1歳での事例が最も多く、それぞれ75人、70人となった。

男児・女児ともに「転倒」が全体の約75%を占める。

表 4_2. 「ベビーカー」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)

										(人)
		全 体	転 倒	ぶ つ け た	転 落	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	バ ラ ン ス を 崩 し た	は さ ん だ	突 い た ・ 刺 さ つ た	詳 細 不 明
全 体		338	254	31	19	12	7	1	1	13
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	172	130	18	7	4	4	－	－	9
	男児0 歳	42	30	6	2	1	2	－	－	1
	男児1 歳	75	55	8	3	1	2	－	－	6
	男児2 歳	34	26	4	1	2	－	－	－	1
	男児3 歳	13	11	－	1	－	－	－	－	1
	男児4 歳	5	5	－	－	－	－	－	－	－
	男児5 歳	2	2	－	－	－	－	－	－	－
	男児6 歳	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	女児合計	166	124	13	12	8	3	1	1	4
	女児0 歳	53	38	6	5	2	1	－	－	1
	女児1 歳	70	52	4	5	4	1	1	1	2
	女児2 歳	22	17	2	1	1	1	－	－	－
	女児3 歳	17	14	－	1	1	－	－	－	1
	女児4 歳	1	1	－	－	－	－	－	－	－
	女児5 歳	3	2	1	－	－	－	－	－	－
	女児6 歳	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(3) 「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_3 は、「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、年下の乳幼児の製品における経験者 505 人のうち、71 人であった。事例別に見ると「転落」が 37 人、「思わぬ所に移動・飛び出し」が 14 人、「はさんだ」が 11 人と続いている。

“危害経験がある”との回答は、「転落」では 12 人となっている。

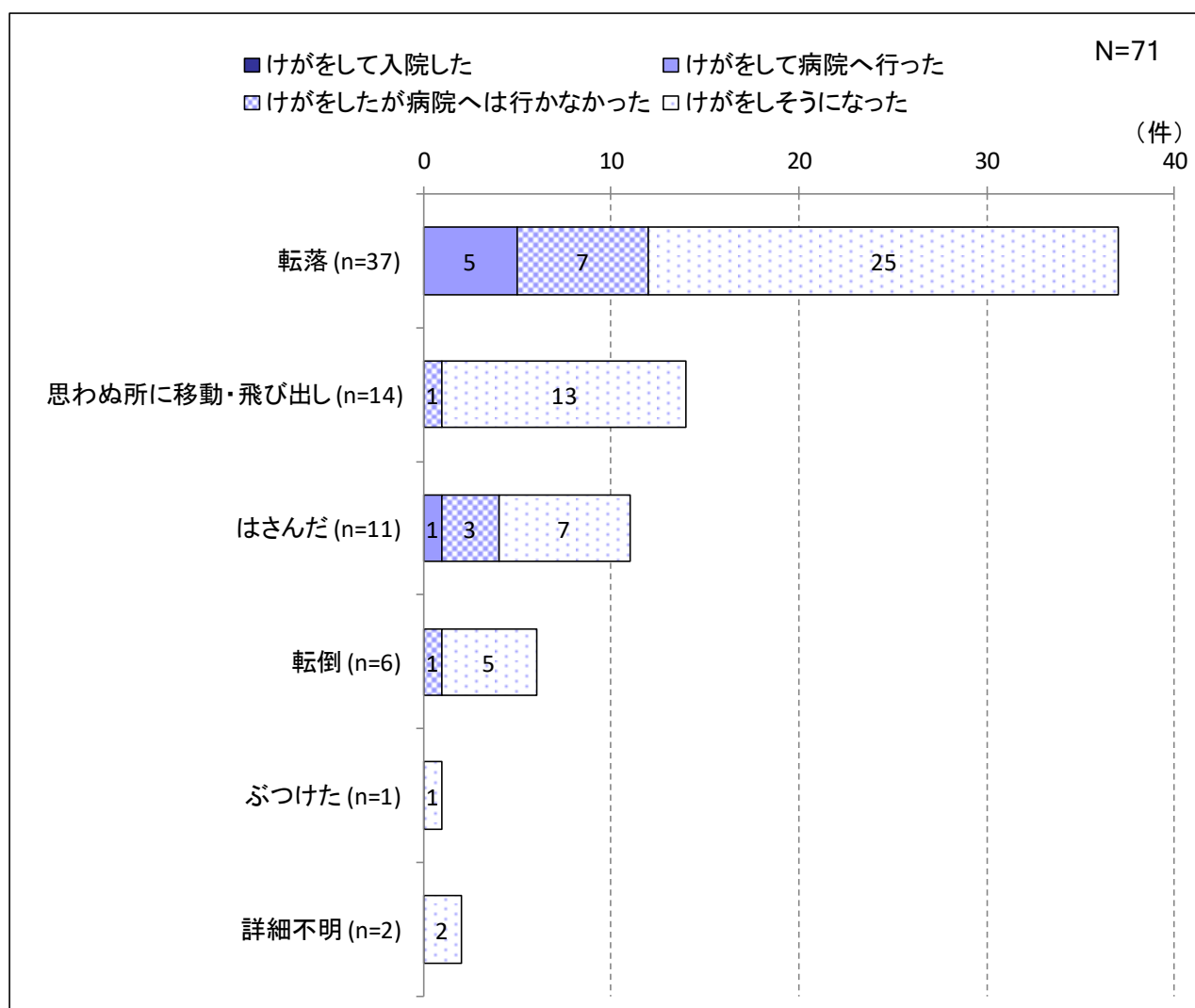


図 4_3. 「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4_3 は、「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 38 名、女児は 33 名であった。また、男児・女児ともに 1 歳での事例が多くなっている。

表 4_3. 「ベビーゲート」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)

		(人)						
		全 体	転 落	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	は さ ん だ	転 倒	ぶ つ け た	詳 細 不 明
全 体		71	37	14	11	6	1	2
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	38	23	8	3	2	—	2
	男児0 歳	6	3	2	1	—	—	—
	男児1 歳	21	14	4	2	1	—	—
	男児2 歳	9	5	1	—	1	—	2
	男児3 歳	1	—	1	—	—	—	—
	男児4 歳	—	—	—	—	—	—	—
	男児5 歳	1	1	—	—	—	—	—
	男児6 歳	—	—	—	—	—	—	—
	女児合計	33	14	6	8	4	1	—
	女児0 歳	6	3	—	2	—	1	—
	女児1 歳	19	7	6	3	3	—	—
	女児2 歳	5	2	—	2	1	—	—
	女児3 歳	2	2	—	—	—	—	—
	女児4 歳	—	—	—	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	1	—	—	1	—	—	—

(4) 「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_4 は、「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験は年下の乳幼児の製品における経験者 505 人のうち、18 人であった。事例別に見ると「転倒」が 7 人、「転落」が 4 人と続いている。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」と「踏まれた」で各 1 人となっている。

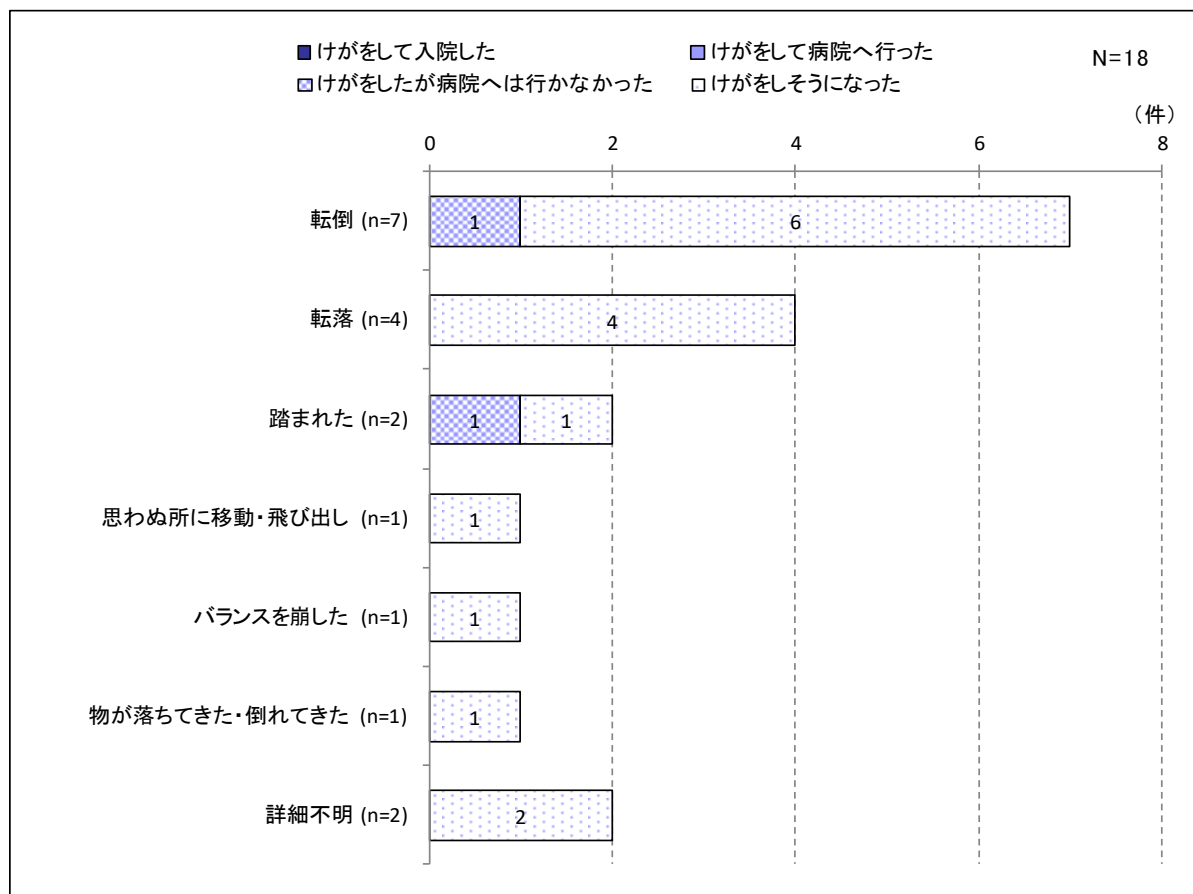


図 4_4. 「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4_4 は、「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 0 歳、1 歳で、女児は 0 歳で経験が見られた。

表 4_4. 「バウンサー」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)

(人)

		全 体	転 倒	転 落	踏 ま れ た	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	バ ラ ン ス を 崩 し た	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	詳 細 不 明
全 体		18	7	4	2	1	1	1	2
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	12	3	3	1	1	1	1	2
	男児0 歳	11	2	3	1	1	1	1	2
	男児1 歳	1	1	—	—	—	—	—	—
	男児2 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児3 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児4 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	男児6 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児合計	6	4	1	1	—	—	—	—
	女児0 歳	6	4	1	1	—	—	—	—
	女児1 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児2 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児3 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児4 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
	女児6 歳	—	—	—	—	—	—	—	—

(5) 詳細事例

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
1	ベビーカー	転倒	女兒 0 歳	下の子をベビーカーに乗せて保育園の迎えに行くと、上の子が自分の荷物をベビーカーに載せていて重みでひっくり返った。
2	ベビーカー	転倒	男児 1 歳	ベビーカーに弟を乗せ、姉に押させていたが、段差でバランスを崩して倒れそうになった。
3	ベビーカー	転倒	男児 1 歳	長男が、下の子を乗せたベビーカーを自分が押して出かけると持ち手をつかんだとき、体重を思い切りかけて倒れてしまった。
4	ベビーカー	転倒	女兒 1 歳	下の子 (1 歳) がベビーカーに乗っていると、上の子 (3 歳) が自分も乗りたいと無理に座ろうとして、後ろにベビーカーが倒れた。
5	ベビーカー	転倒	女兒 1 歳	上の子がベビーカーを押そうとしていたが、ベビーカーに荷物も掛かっていたため後ろに転倒しそうになった。
6	ベビーカー	転倒	男児 2 歳	小学生の姉が、下の子を乗せたベビーカーを押したがっけお願いしたが、道のデコボコがある所でベビーカーごとつまずき、倒れそうになった。
7	ベビーカー	転倒	男児 3 歳	買い物中、一時離れたときに 5 歳の兄が持ち手に手をかけて、ベビーカーごと倒れた。
8	ベビーカー	転倒	男児 3 歳	ベビーカーに下の子を乗せて、当時 6 歳の長男がベビーカーを押していた。段差の乗り越え方がわからず、前輪がつまずき、ベビーカーが前へ倒れた。
9	ベビーカー	ぶつけた	男児 1 歳	兄がベビーカーを押していたが、坂道で手を離してしまい、建物にぶつかった。
10	ベビーカー	ぶつけた	男児 2 歳	散歩中に上の子供がベビーカーを押したが押し寄せたら、上手く操作できず自転車にぶつかりそうになった。
11	ベビーカー	転落	女兒 1 歳	ベビーカーに下の子を乗せて出かける準備をしていたときに、お兄ちゃんに荷物をベビーカーにかけてもらうよう頼んだところ、ベビーカーごと階段から落ちてけがをした。
12	ベビーカー	思わぬ所に移動・飛び出し	女兒 3 歳	妹がベビーカーに乗っていたら、兄が坂道に向かって押してすべらせた。
13	ベビーカー	はさんだ	女兒 1 歳	ベビーカーを組み立てる際に、下の子が手を置いていることに気がつかずに上の子が立ち上げた際に、指をはさんでしまいけがをした。
14	ベビーゲート	転落	男児 0 歳	3 歳の姉が階段を下りるためベビーゲートを開けたところに、タイミング悪く 0 歳の弟がハイハイして行き、転落しかけた。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
15	ベビーゲート	転落	男児 1 歳	上の子が出かけるときにゲートがしっかり閉まらずに、後追いした下の子が段差を転げ落ちた。
16	ベビーゲート	思わぬ所に移動・飛び出し	女児 1 歳	上の子がゲートを開けて階段を降りてしまった。気がつく、それを見た下の子と一緒に階段を降りていた。
17	ベビーゲート	はさんだ	男児 1 歳	上の子がベビーゲートを閉める際、後ろをきちんと見ておらず下の子が手をはさんでしまった。
18	ベビーゲート	はさんだ	女児 1 歳	上の子がベビーゲートを閉めようとしたところ、下の子が蝶番部分に手をのぼしてしまい、指をはさみ、爪をはがすけがをした。救急で病院に行き、4 針縫った。
19	バウンサー	転倒	男児 0 歳	下の子をバウンサーに寝かせていたら、上の子が勢いよく揺らしてしまい、バウンサーと一緒にひっくり返ってしまった。少し額が赤くなる程度で済んだ。
20	バウンサー	転落	女児 0 歳	上の子が下の子をバウンサーに乗せたが、ベルトを着けなかったために、バウンサーから落ちそうになった。
21	ベビーラック・ベビーチェア	転倒	男児 0 歳	下の子を乗せていたが、上の子が覗き込もうとして倒れそうになった。
22	ベビーラック・ベビーチェア	転落	女児 1 歳	上の子が、下の子をチェアから抱っこして下ろしてあげようとしていて、支えきれず落としてしまった。
23	ベビーベッド	転落	女児 0 歳	外出先の子供の遊び場にあるベビーベッドに 0 歳の赤ちゃんを入れていたのだが、親が目を離したときに、上の子がベビーベッドの柵を誤って下ろしてしまい、赤ちゃんが転落してしまった。
24	ベビーベッド	転倒	男児 0 歳	上の子がベビーベッドの柵を揺らしていたら、ベッドごと横に倒れてしまい、寝ていた下の子が頭部打撲してしまいました。
25	ベビーベッド	はさんだ	女児 0 歳	下の子がベビーベッドで寝ていた際、ぐずり始めたので、上の子があやそうとしたのか、ベッドの柵を下にスライドさせた。その際、下の子の手が柵にはさまりかけてヒヤリとした。
26	バギー	転倒	男児 0 歳	次男を乗せたバギーに長男がぶら下がり、バギーを倒した。
27	バギー	転落	女児 2 歳	きちんとベルトをつけていない状態で上の子が押ししてしまい、ちょっとした段差でタイヤがつまり、下の子がバギーから落ちてしまった。
28	三輪車	転倒	男児 2 歳	上の子が勢いよく押したことで横転した。
29	ベビーサークル	物が落ちてきた・倒れてきた	女児 1 歳	姉が遊んでいて、ベビーサークルを倒して妹が下敷きになった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
30	乗用玩具	踏まれた	女兒 3 歳	小学一年生の兄が車にまたがって 3 歳の妹の足をひいた。
31	乗用玩具	バランスを崩した	女兒 2 歳	前に妹が乗っているのに、兄が後ろのギリギリのところに乗ったためバランスを崩した。
32	歩行器	ぶつけた	女兒 0 歳	末っ子が乗った歩行器を上の子が強く押して壁にぶつかった。
33	歩行器	からまった・巻き付いた	男児 1 歳	つかまり立ちが上手になってきた頃歩行器に乗せていたら上の子が手押し車のように押ししてしまって足がからまった。
34	抱っこひも	窒息・呼吸の妨げ	女兒 3 歳	5 歳の姉が抱っこひもを持ち出して、妹を抱っこひもに入れてお母さんごっこをしようとして、ひもが首に引っかかった。
35	チャイルドシート	転落	女兒 0 歳	車から降りるときに、小学生の姉がベルトを外していて、親がそれに気づかずドアを開けたまま目を離したときにチャイルドシートから落ちてしまった。
36	チャイルドシート	転落	男児 4 歳	上の子がふざけてチャイルドシートを外して落ちそうになった。
37	メリー	物が落ちてきた・倒れてきた	男児 0 歳	上の子がベビーベッドにつけてあるメリーを触ってメリーが外れ、下の子に当たりそうになった。
38	布団	窒息・呼吸の妨げ	女兒 0 歳	4 歳の兄が妹の世話をしようとして布団をかけたが、顔を覆うようにかけていた。
39	自転車	転倒	男児 2 歳	補助輪自転車の後部についている手持ち部（棒状）を下の子が持っしまい、それを知らずに 4 歳児の兄がこぎ出し、引きずられた。
40	テーブル・机	ぶつけた	男児 4 歳	下の子の頭がテーブルに届きそうになっていたのに、テーブルにクッション材のカバーを付けていたが、兄が取り外すことができることに気づき、外してしまい、頭を思いっきりぶつけておでこを切ってしまった。
41	スタイ	窒息・呼吸の妨げ	男児 1 歳	兄が弟にスタイをつけてあげようとしたが、弟が嫌がり暴れたので、兄が力づくでつけようとして、首がしまりかけた。
42	ベビーバス	溺水	男児 0 歳	弟の沐浴時に タオルを準備し忘れたため ほんの数秒取りに行って戻ってきたら 兄が沈めていた。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すものの以外はアンケート回答のまま掲載した。

5. その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 5_1 は、その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（出現数が 1 件または 2 件の製品は「その他」とした）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 686 人 (22.9%) であった。

製品別に見ると、「ドア・窓類」が 304 人 (44.3%) と最も多く、次いで、「自転車」166 人 (24.2%)、「階段」が 26 人 (3.8%) と続く。

“危害経験がある”との回答は、「ドア・窓類」が 156 人と最も多く、次いで「自転車」57 人と続く。

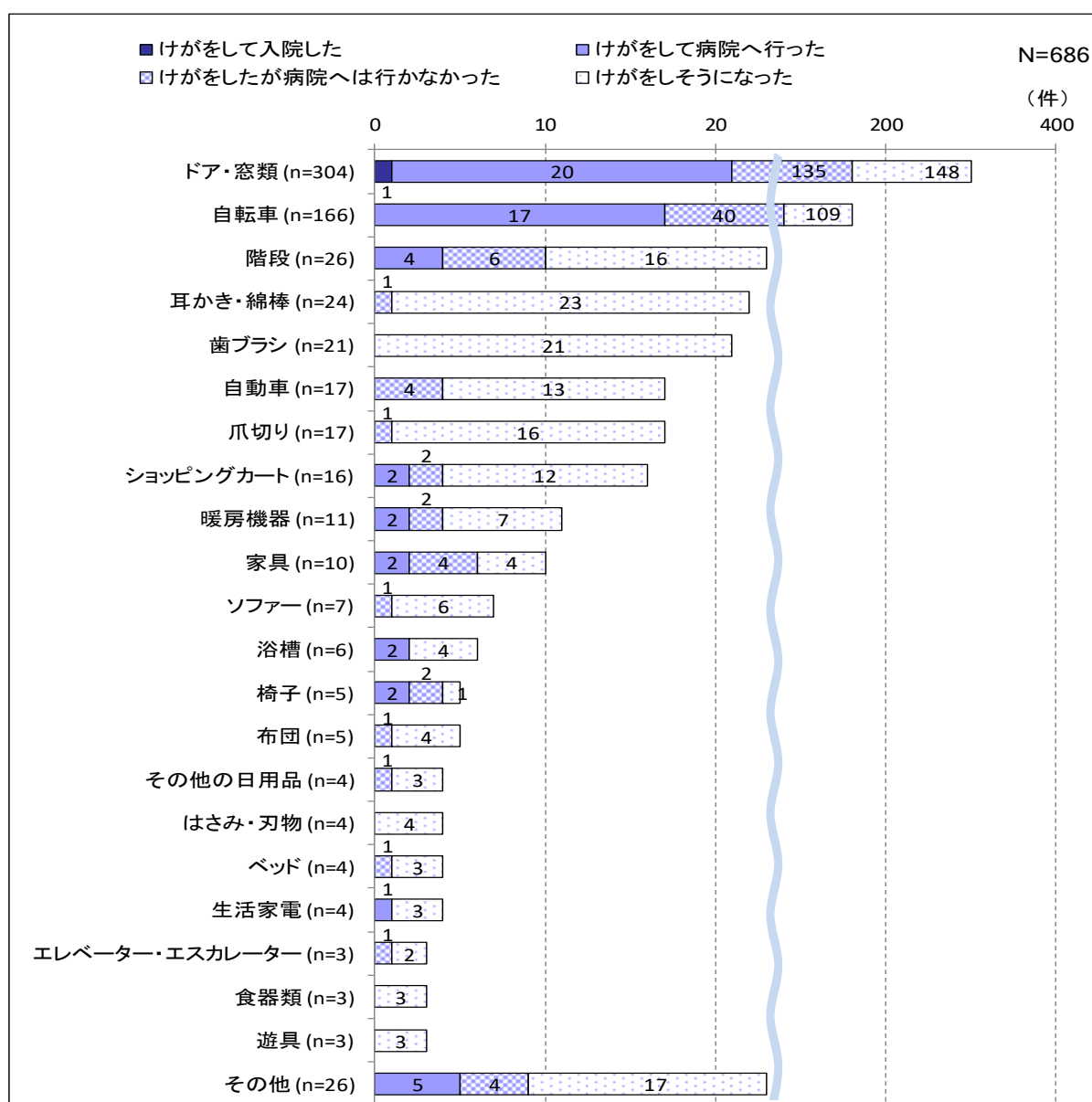


図 5_1. その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (製品別)

表 5_1_1 は、その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 686 人のうち「はさんだ」の事例が 242 人（35.3%）と最も多く、次いで「転倒」が 189 人（27.6%）、「ぶつけた」91 人（13.3%）と続く。

「はさんだ」に関わる製品は、「ドア・窓類」が 215 人で最も多い。「転倒」では、「自転車」が 160 人、「ぶつけた」では、「ドア・窓類」が 74 人となっている。

表 5_1_1. その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品別）

		(人)										
	全 体	は さん だ	転 倒	ぶ つ け た	突 いた ・ 刺 さ つ た	転 落	切 つ た	や け ど	熱 が こ も つ た ・ 大 汗 を か い た	窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ	誤 飲	そ 他
全 体	686	242	189	91	49	40	24	8	8	7	6	22
ドア・窓類	304	215	7	74	—	3	1	—	—	—	—	4
自転車	166	—	160	1	—	2	—	—	—	—	—	3
階段	26	—	4	1	—	17	—	—	—	—	—	4
耳かき・綿棒	24	—	—	—	24	—	—	—	—	—	—	—
歯ブラシ	21	—	—	—	21	—	—	—	—	—	—	—
自動車	17	16	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
爪切り	17	—	—	—	—	—	17	—	—	—	—	—
ショッピングカート	16	—	13	—	—	2	—	—	—	—	—	1
暖房機器	11	—	1	—	—	—	—	1	8	—	—	1
家具	10	7	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
ソファ	7	—	1	—	—	5	—	—	—	—	—	1
浴槽	6	—	1	—	—	—	1	1	—	—	—	3
椅子	5	1	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
布団	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—
その他の日用品	4	—	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—
はさみ・刃物	4	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—
ベッド	4	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—	1
生活家電	4	1	—	2	—	—	—	1	—	—	—	—
エレベーター・エスカレーター	3	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
食器類	3	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
遊具	3	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—
その他	26	1	—	5	1	4	1	4	—	2	5	3

表 5_1_2 は、子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 362 人、女児が 324 人であった。

「ドア・窓類」の事例は、男児が 171 人、女児が 133 人であり、「自転車」の事例は男児が 81 人、女児が 85 人である。

表 5_1_2. その他の製品での危害及びヒヤリ・ハット経験（製品×子供の性・年齢別）

(人)

		全 体	ド ア ・ 窓 類	自 転 車	階 段	耳 か き ・ 綿 棒	歯 ブ ラ シ	自 動 車	爪 切 り	シ ョ ッ ピ ン グ カ ー ト	暖 房 機 器	家 具	ソ フ ア ー	浴 槽	椅 子	布 団	そ の 他
全 体		686	304	166	26	24	21	17	17	16	11	10	7	6	5	5	51
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	362	171	81	17	12	10	9	10	3	3	6	4	6	1	2	27
	男児0 歳	39	17	1	1	3	1	-	3	-	1	1	2	-	1	2	6
	男児1 歳	103	53	20	7	-	2	2	4	2	1	2	1	3	-	-	6
	男児2 歳	116	48	36	4	5	5	4	-	-	1	2	-	2	-	-	9
	男児3 歳	64	31	15	3	2	1	3	2	1	-	1	-	-	-	-	5
	男児4 歳	24	15	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男児5 歳	10	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	男児6 歳	6	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
	女児合計	324	133	85	9	12	11	8	7	13	8	4	3	-	4	3	24
	女児0 歳	50	13	6	2	3	-	-	5	4	4	2	2	-	-	2	7
	女児1 歳	90	44	20	4	1	6	1	1	2	1	-	-	-	1	-	9
	女児2 歳	83	35	28	1	3	2	1	1	5	-	1	-	-	3	-	3
	女児3 歳	61	28	18	-	3	1	5	-	2	2	-	1	-	-	-	1
	女児4 歳	27	9	10	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3
	女児5 歳	10	3	2	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	女児6 歳	3	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※この表における「その他」は、図 5_1 及び表 5_1_1 の「その他の日用品」から「その他」までのものである。

(2) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_2 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験はその他の製品における経験者 686 人のうち、304 人であった。事例別に見ると「はさんだ」が 215 人で約 7 割を占めている。

“危害経験がある” との回答は、「はさんだ」で 117 名、「ぶつけた」で 34 名である。

図 5_2. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

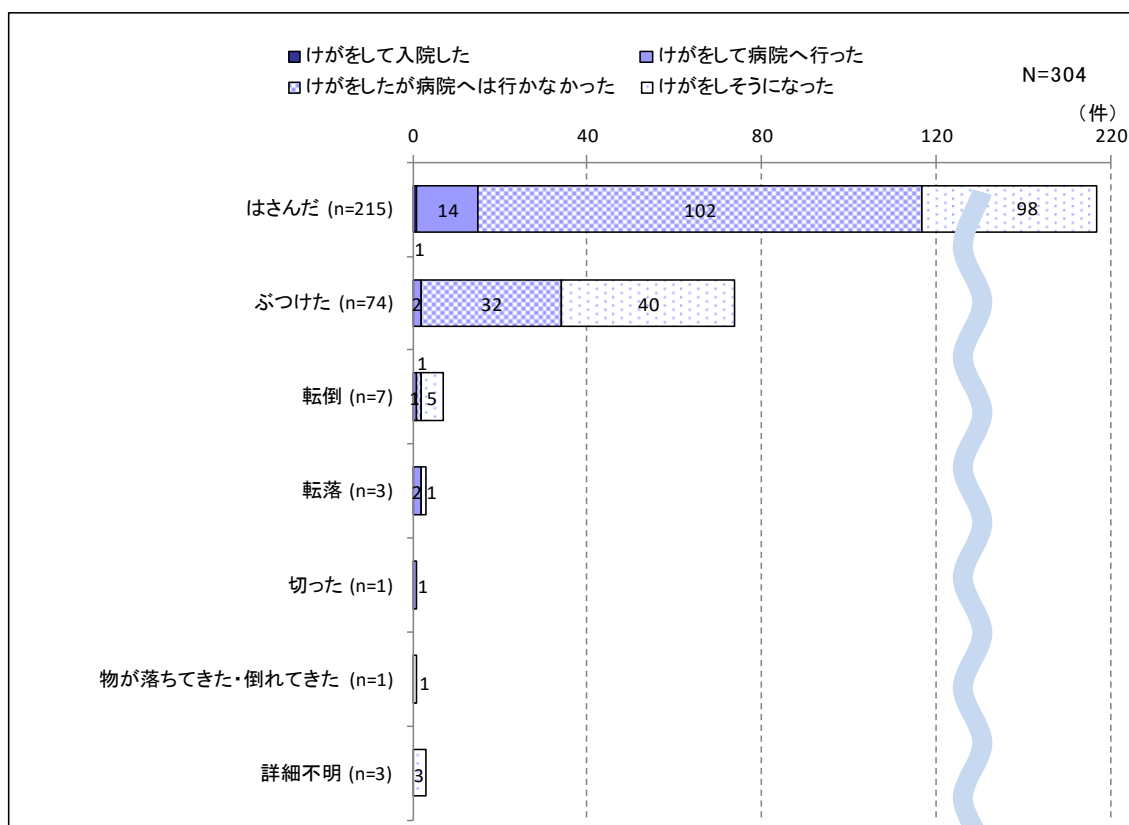


表 5_2 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに、1 歳での事例が最も多く、男児 1 歳 53 人、女児 1 歳は 44 人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男児・女児ともに「はさんだ」が約 7 割を占めており、男児は 117 人、女児は 98 人となっている。

表 5_2. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)
(人)

		全 体	は さん だ	ぶ つ け た	転 倒	転 落	切 っ た	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	詳 細 不 明
全 体		304	215	74	7	3	1	1	3
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	171	117	44	4	1	1	1	3
	男児0 歳	17	11	5	－	－	－	－	1
	男児1 歳	53	40	10	2	1	－	－	－
	男児2 歳	48	33	12	1	－	1	1	－
	男児3 歳	31	20	11	－	－	－	－	－
	男児4 歳	15	8	5	1	－	－	－	1
	男児5 歳	6	5	1	－	－	－	－	－
	男児6 歳	1	－	－	－	－	－	－	1
	女児合計	133	98	30	3	2	－	－	－
	女児0 歳	13	8	3	1	1	－	－	－
	女児1 歳	44	33	9	1	1	－	－	－
	女児2 歳	35	29	5	1	－	－	－	－
	女児3 歳	28	23	5	－	－	－	－	－
	女児4 歳	9	5	4	－	－	－	－	－
	女児5 歳	3	－	3	－	－	－	－	－
	女児6 歳	1	－	1	－	－	－	－	－

(3) 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_3 は、「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、その他の製品における経験者 686 人のうち、166 人であった。事例別に見ると「転倒」が 160 人とそのほとんどを占めた。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」で 54 人となっている。

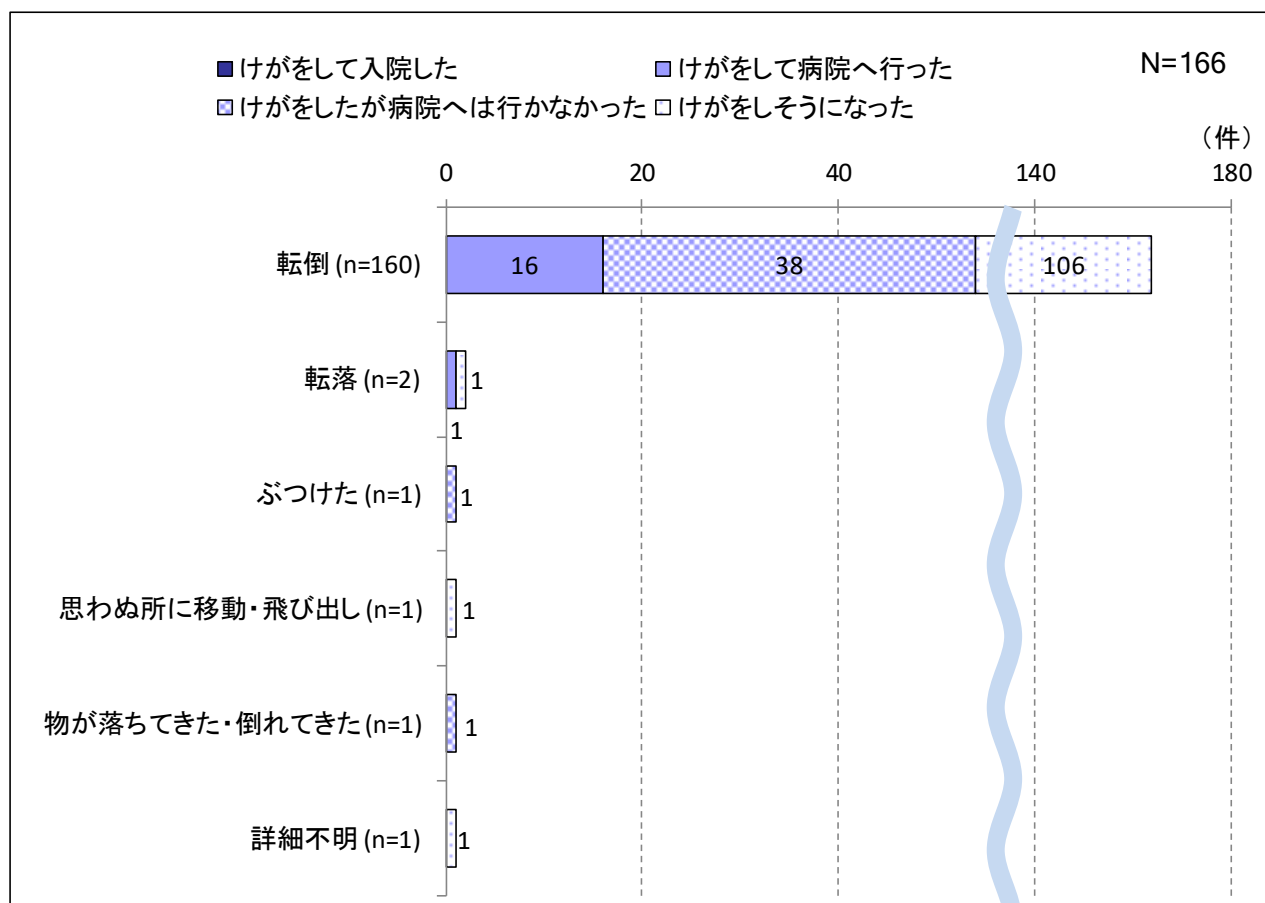


図 5_3. 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5_3 は、「自転車」での危害及びヒヤリ・ハットを経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに 2 歳の事例が最も多くなっており、男児は 36 人、女児は 28 人である。

表 5_3. 「自転車」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)
(人)

		全 体	転 倒	転 落	ぶ つ け た	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た	詳 細 不 明
全 体		166	160	2	1	1	1	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	81	75	2	1	1	1	1
	男児0 歳	1	1	－	－	－	－	－
	男児1 歳	20	18	1	－	－	－	1
	男児2 歳	36	33	1	－	1	1	－
	男児3 歳	15	15	－	－	－	－	－
	男児4 歳	6	5	－	1	－	－	－
	男児5 歳	1	1	－	－	－	－	－
	男児6 歳	2	2	－	－	－	－	－
	女児合計	85	85	－	－	－	－	－
	女児0 歳	6	6	－	－	－	－	－
	女児1 歳	20	20	－	－	－	－	－
	女児2 歳	28	28	－	－	－	－	－
	女児3 歳	18	18	－	－	－	－	－
	女児4 歳	10	10	－	－	－	－	－
	女児5 歳	2	2	－	－	－	－	－
	女児6 歳	1	1	－	－	－	－	－

(4) 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_4 は、「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験はその他の製品における経験者 686 人のうち、26 人であった。事例別に見ると「転落」が 17 人と最も多く、次いで「転倒」、「思わぬ所に移動・飛び出し」がそれぞれ 4 人となっている。

“危害経験がある” の回答は「転落」で 7 人となっている。

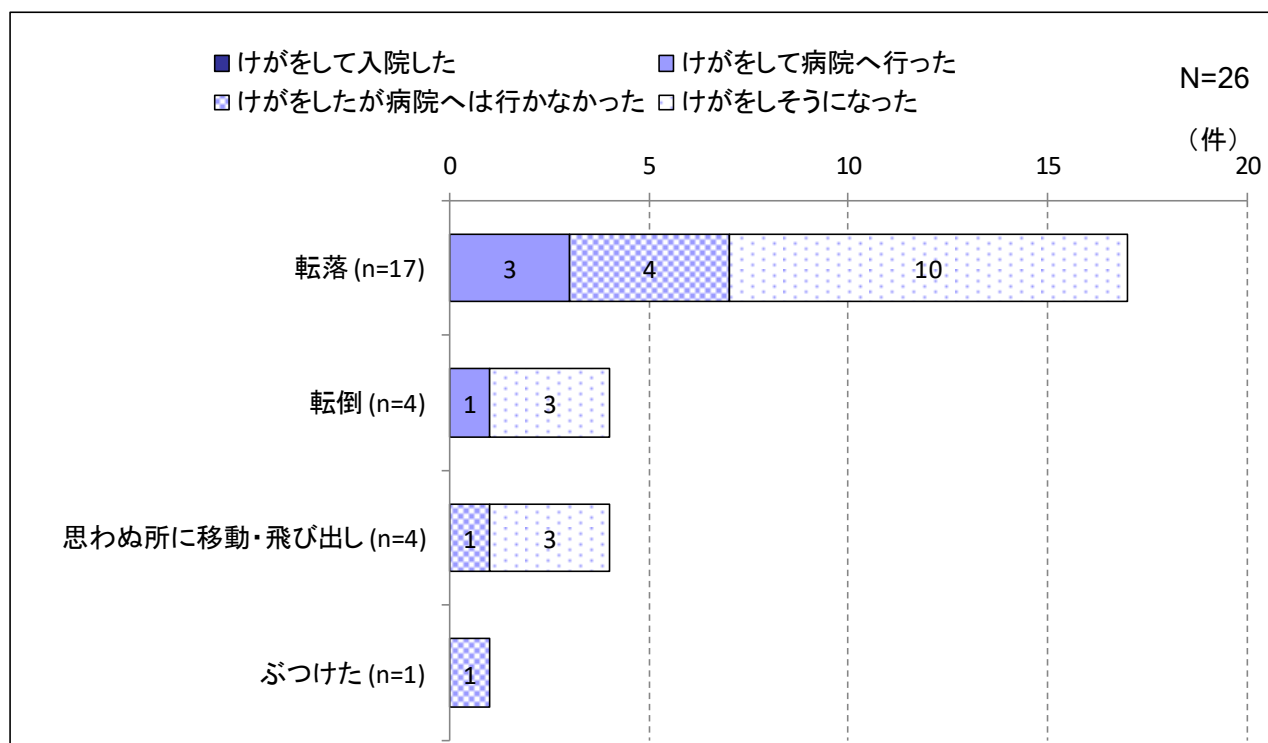


図 5_4. 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5_4 は、「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児・女児ともに1歳が最も多くなっており、男児は7人、女児は4人となっている。

表 5_4. 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験(事例×子供の性・年齢別)

		(人)				
		全 体	転 落	転 倒	思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し	ぶ つ け た
全 体		26	17	4	4	1
子 供 の 性 別 ・ 年 齢	男児合計	17	10	4	2	1
	男児0 歳	1	－	－	1	－
	男児1 歳	7	5	1	1	－
	男児2 歳	4	3	－	－	1
	男児3 歳	3	1	2	－	－
	男児4 歳	1	－	1	－	－
	男児5 歳	1	1	－	－	－
	男児6 歳	－	－	－	－	－
	女児合計	9	7	－	2	－
	女児0 歳	2	2	－	－	－
	女児1 歳	4	3	－	1	－
	女児2 歳	1	－	－	1	－
	女児3 歳	－	－	－	－	－
	女児4 歳	1	1	－	－	－
	女児5 歳	1	1	－	－	－
	女児6 歳	－	－	－	－	－

(5) 詳細事例

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
1	ドア・窓類	はさんだ	女兒 0 歳	ドアの前でハイハイしていたところ、上の子が思い切りドアを開け、下の子の指がドアの下の隙間にはさまり、爪が剥がれた。
2	ドア・窓類	はさんだ	男児 1 歳	トイレの前で遊んでいて、兄がトイレに行くときに、弟に入って欲しくなくて勢いよくドアを閉めた。ドアに指がはさまり小指の先を切断した。
3	ドア・窓類	はさんだ	女兒 1 歳	お兄ちゃんが、妹が後ろについてきているのを知らずにトイレのドアを勢いよく閉めてしまい、妹が指をドアにはさみ、骨折してしまった。
4	ドア・窓類	はさんだ	男児 2 歳	下の子 (2 歳) がドア周辺で遊んでいて、ドアの蝶番周辺に手を置いた状態で上の子がドアを開け、指を軽くはさんだ。
5	ドア・窓類	はさんだ	女兒 2 歳	兄が開き戸を開けたら、妹の手がちょうど開き戸の隙間にはさまっていたようで、それを知らずに兄が開き戸を閉めたため、手のひらをはさんでしまった。病院でレントゲンを撮ったが異常なしだった。
6	ドア・窓類	はさんだ	女兒 4 歳	お姉ちゃんが急にドアを開けた際に、指をはさんでしまい血豆になってしまった。
7	ドア・窓類	はさんだ	男児 5 歳	追いかけて遊んでいて、8 歳の子がタイミング悪くドアを閉めたら 5 歳の子が指を少しはさんだ。
8	ドア・窓類	ぶつけた	男児 3 歳	下の子がいるとは知らずに、上の子が勢いよくドアを開けてしまい、ドアノブがおでこにぶつかって、軽く打撲をした。
9	ドア・窓類	ぶつけた	男児 4 歳	上の子が勢いよく扉を開けたとき、下の子が扉の近くにいたので扉の取っ手に頭をぶつけた。
10	ドア・窓類	ぶつけた	女兒 6 歳	上の子が扉を開けたとき、ちょうど下の子がいて頭と体に扉がぶつかった。
11	ドア・窓類	転落	女兒 1 歳	上の子が出かける際にドアを開けっぱなしにしていたので、下の子がついて行ってしまい、階段から落ちて鎖骨を骨折した。
12	自転車	転倒	男児 1 歳	父が兄を自転車から降ろそうとした際、足が引っかかって自転車がひっくり返った。父が弟のシートベルトを着けていなかったため転倒して投げ出されたため脳外科を受診した。
13	自転車	転倒	男児 1 歳	自転車の前と後ろに乗せたまま、少し動かないで待っていて、とお願いしたが、上の子が動いて降りたため、自転車が倒れて、下の子の顔を打って唇を切った。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
14	自転車	転倒	女兒 1 歳	前の席に末っ子を座らせていたが、後ろに上の子が一人で乗ろうとし、自転車が倒れそうになって慌てて母が自転車を押さえた。
15	自転車	転倒	女兒 1 歳	自転車の前部座席に妹を座らせ、後部座席に姉を乗せようとしたときに、自転車のバランスが崩れ、自転車が転倒しそうになった。
16	自転車	転倒	男児 2 歳	下の子を乗せて目を離したときに、私が押さえていないのに上の子がグイッと自転車で乗ろうとしたため、自転車が横転し下の子のおでこにたんこぶができました。
17	自転車	転倒	男児 2 歳	道に迷い前と後ろに子供たちを乗せたまま停めて少し離れて辺りを見ていたら、自転車が倒れた。下の子の前歯が折れて神経を抜いた。
18	自転車	転倒	女兒 2 歳	外出から帰宅して、後ろの座席で眠ってしまった上の子を先に降ろして玄関のドアを開けようとしたところ、前の座席に座っていた下の子が急に立ち上がり自転車が横転してしまった。
19	自転車	転倒	女兒 2 歳	姉が一人で自転車に乗っていて転んだので、妹を自転車のチャイルドシートに乗せたまま離れてしまった。少しして、自転車の上で動いたようで、自転車ごと倒れてしまった。
20	自転車	転倒	女兒 2 歳	下の子を自転車の前部の席に座らせたまま、後部の姉を降ろそうとしたとき、自転車のバランスが崩れて転倒し、下の子が軽いけがをした。
21	自転車	転倒	男児 3 歳	上の子の面倒を見ている間に、先に補助席に息子を乗せていた自転車が風に煽られて倒れた。
22	自転車	転倒	女兒 3 歳	下の子 3 歳を前のシートに乗せた後、自転車をしっかり押さえていないうちに上の子 6 歳が後部座席に乗車しようとして自転車が倒れかかった。
23	階段	転落	男児 2 歳	兄の真似をして階段を下りていたら、残り数段のところから下に落ちた。
24	階段	転落	女兒 5 歳	姉が母親を追いかけて階段を勢いよく下りたとき、妹も追いかけて階段を下りようとして、転がり落ちた。
25	階段	転倒	男児 3 歳	姉が階段を上り下りして遊んでいたところ、弟が真似をして、足をすべらせ顎を強打。3 針ほど縫うけがをしてしまった。
26	耳かき・綿棒	突いた・刺さった	女兒 0 歳	下の子の耳かきをしていたら、2 歳の兄がふざけてぶつかってきたため、耳の中が出血してしまった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
27	耳かき・綿棒	突いた・刺さった	男児 2 歳	母が耳かきをしていた際、姉がたわむれてきて耳の中をけがするところだった。
28	歯ブラシ	突いた・刺さった	女児 1 歳	下の子の歯磨きをしていたら、上の子が背中についてきて、喉に突き刺さるところだった。
29	歯ブラシ	突いた・刺さった	女児 5 歳	妹の歯を磨いていたところ、姉がふざけて近づいてきたため、妹が動き歯ブラシが口の中で歯茎とぶつかり妹が泣いた。けがはなかった。
30	歯ブラシ	突いた・刺さった	男児 6 歳	歯の仕上げ磨きをしていると、上の子がジャンプして飛び越えようとしてヒヤリとした。
31	自動車	はさんだ	男児 3 歳	上の子が助手席に座り、下の子が助手席の後部座席に乗る際、下の子が助手席と後部座席のドアの境目をつかんで乗ろうとした際に、上の子が助手席のドアを閉めてしまい指をはさんだ。
32	自動車	はさんだ	女児 3 歳	上の子が車を降りて、同じドアから下の子が降りると思わずにドアを閉めてしまい、指をはさんだ。
33	爪切り	切った	女児 0 歳	次女の爪切りをしていたときに長男がぶつかってきて、指先を切ってしまった。
34	爪切り	切った	男児 1 歳	下の子の爪切り中に上の子が飛びかかって来た。すぐに爪切りを離したのでけがはなかった。
35	ショッピングカート	転倒	女児 3 歳	スーパーにある子供を乗せて買い物ができるショッピングカートに下の子を乗せているとき、兄が持ち手にぶら下がり横転しそうになった。
36	ショッピングカート	転落	男児 1 歳	買い物中、ショッピングカートの子供を乗せるところに 1 歳の長男を乗せ、5 歳の長女と歩いていた。長女がショッピングカートを押したがったので任せていたら遊び始め、勢いで長男が店内の床に転落した。両手をついたのでけがはなかったが、5 歳児にはまだ任せてはいけないと思った。
37	暖房機器	熱がこもった・大汗をかいた	女児 0 歳	電気カーペットを切っていたはずが、熱さが最大にされていて気がついたら汗びっしょりになっていた。
38	暖房機器	熱がこもった・大汗をかいた	男児 2 歳	消しておいたカーペットを、上の子がいつのまにかつけていて、寝ていた下の子が汗びっしょりかいていた。
39	家具	はさんだ	男児 2 歳	姉と話しながら、弟の手があるのに気づかず引き出しを閉めてしまい、指をはさんだ。
40	ソファ	転落	男児 0 歳	姉がソファに乳児を座らせて、その場を離れたら動いてしまい、ソファから転落してしまった。

No.	製品	事例	性別・年齢	内容
41	浴槽	溺水	男児 2 歳	用事があり浴室を離れたら、下の子が浴槽でおぼれそうになった。上の子がすぐに救出してくれた（救い上げた）ので、特に問題にはなりませんでした。
42	椅子	転落	女児 2 歳	下の子が椅子に座っており、姉が椅子をどかそうと椅子を引いたときに椅子から落ち頭をぶつけた。
43	布団	窒息・呼吸の妨げ	女児 0 歳	寝ている妹に布団をかけてトントンしてあげると言っていたので、任せて洗い物をしていたら、妹の顔まで布団をかぶせてしまっていた。
44	はさみ・刃物	切った	男児 3 歳	親が、兄の髪をはさみで切っていたところ、弟が飛び込んできて、はさみが弟にあたりけがをしそうになった。
45	ベッド	転落	男児 2 歳	姉がベッドの上で立ち上がって、それを見た弟も真似をして立ち上がり、ベッドから転落した。
46	食器類	突いた・刺さった	男児 0 歳	離乳食を与えているときに、上の子が抱きついてきて喉にスプーンが奥まで入った。
47	遊具	ぶつけた	男児 3 歳	室内用鉄棒で上の子が前回りしたときに、下の子が衝突した。
48	健康器具	はさんだ	女児 0 歳	上の子が大人の健康器具でふざけて遊んでいる際、下の子が手を伸ばしてしまい隙間に指をはさみ右手の人差指を数ミリ切断した。幸い回復が早く見た目ではほとんど分からないほど治った。約 4 ヶ月通院した。
49	ペットボトル	誤飲	女児 0 歳	ペットボトルの蓋をリサイクル用に集めており、上の子がそれを大量に持って遊んでいたところへ、下の子が口の中へ入れて窒息しそうになった。
50	ベランダ	転落	女児 2 歳	ベランダで、姉が 2 歳の妹を抱っこし、柵につかまらせて、外の景色を見せようとしていた。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

6. 日常生活で使用する製品等について年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫

(1) 日常生活で使用する製品等について年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫(概要)

日常生活で使用する製品等について、年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫を自由記述で質問した結果、2,095 人から 2,615 件の回答を得た(複数回答あり)。

図 6_1 は、回答を 7 分類にまとめた結果である。

「危険なものを置かない・片づける」が、1,128 人(53.8%)が回答している。続いて「目を離さない・一人にしない」が 462 人(22.1%)、「危ないものや行動を子供に伝える」が 460 人(22.0%)となっている。

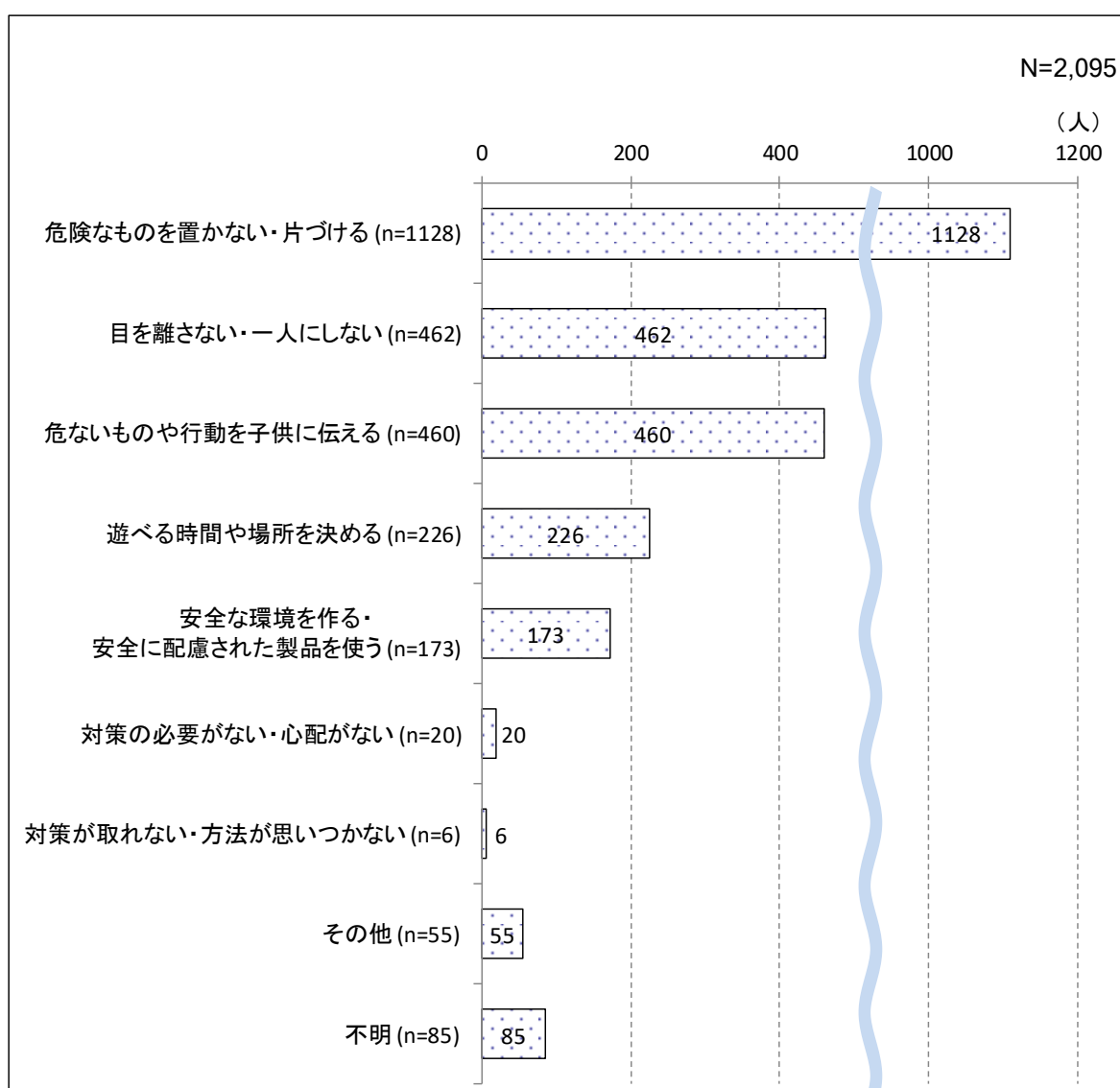


図 6_1. 日常生活で使用する製品等について年下の乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫(概要)

(2) 詳細事例

危険なものを置かない・片づける	
1	下の子供がある程度大きくなるまで、細かな部品のある玩具は使用しないようにしている。
2	細かいものを床に置きっぱなしにしない。
3	とにかく危険なものは手の届く所に置かない。
4	小さなものは上に置く。
5	できるだけ床にもものを散らかしておかない。
6	小さい部品はテーブルで遊んだらすぐ片づける。
7	片づけを徹底する。
8	小さく危ないおもちゃは出さない。
9	高い所に置く。
10	高いところ、もしくは鍵のかかるところに置く。
11	小さなものは渡さない。
12	小さいものは全てクローゼットの中にしまっている。
13	小さいときは小さなおもちゃは出さなかった。
14	使ったらすぐ片づける。おもちゃ等を次から次へと出さない。
15	一人で遊ばせるときは安全なものしか置かない。
目を離さない・一人にしない	
1	目を離さない。
2	自分がいるところで遊ばせるようにしている。
3	常に周りで大人がみている。
4	何か動作を起こすときにどこにいるか確認する。
5	幼い兄弟2人だけで遊ばせないよう、必ず近くに大人が見ているようにしている。
6	常に目を向けておく。
7	目をできるだけ離さないようにする。
8	常に子供から目を離さないようにしている。
9	一人にしない。
10	下の子も上の子も目を離さないこと。
11	誰かが見ているようにする。
12	下の子からなるべく目を離さないようにしている。
13	目の行き着く場所で遊ばせる。
14	子供たちだけで遊ばせない。
15	様子をみている。

危ないものや行動を子供に伝える	
1	あらかじめ触ってはいけないもの、口に入れてはいけないものを教え、もし大事になったらどうなるかを詳細に伝えている。
2	上の子に、下の子が危険な場面はどういうときなのかを教えるようにしている。
3	上の子にはさみや危ないものは必ずしもうように伝える。
4	触ってはいけないもの、触らせてはいけないものは上の子にも分かるように説明し、言葉の理解がまだまだな一歳児にも何回でも教えている。
5	本人に危ないものは言い聞かせている。聞き分けできる年齢なので言えばだいたい大丈夫。
6	下の子は思いがけない使い方をするので、使ったものはすぐ片づけるように上の子に注意している。
7	言葉が分かるようになってきたので、危ないものは事前に何度も教える。
8	下の子が口に入れそうなものは置きっぱなしにしないよう上の子に話している。
9	身の回りの安全について、ダメだけでなく、なぜ危ないか理由を伝えている。
10	下の子が触ったら危ないものは届かないところに片づけるように上の子とも話している。
11	何でも上の子の真似をしようとしてしまうため、危険なこととチャレンジしてもいいことを見極めるように話したり、見守ったりしている。
12	下の子はどうしたらけがをするのか理解していないということを、上の子に言い聞かせてわからせる。
13	日頃からこれは危険だからと上の子に説明しながら遊ばせている。
14	遊んだ後は片づける。末子は危険がある玩具や道具に対する識別がないことを姉たちにも言い聞かせている。
15	はさみや包丁の扱い方について説明している。
遊べる時間や場所を決める	
1	小さな部品を扱うおもちゃが増えてきたので、乳児と遊ぶスペースを物理的に分けて遊ばせている。
2	下の子が起きているときには、細かいおもちゃは出さないとルールを決めた。
3	細かいものや危険なものを扱うときは、下の子が寝ていたり、出かけているときと決めている。
4	小さい部品のおもちゃは自身の部屋で遊ばせるようにし、全員の共有スペース(リビングなど)には持ち出させないようにしていた。
5	上の子がブロックなどで遊ぶのが好きなので、遊ぶときは子供部屋で遊ぶようにさせ、別の場所で遊ぶようにさせている。
6	姉と弟のおもちゃを分けて管理する。子供達から目を離さないようにするしかない。
7	扉周りや階段では遊ばない。遊ばせない。
8	下の子が小さいうちは、飲み込めるサイズの玩具は二階で遊ばせて一階に持って来させなかった。
9	決めた場所からはみ出さないようにして遊ぶように言っている。
10	遊ぶ場所を変えている。

11	上の子が遊ぶ部屋と生活する部屋を分けている。生活する部屋には上の子のおもちゃは持ち込まないルールにしている。
12	細かい部品のあるおもちゃで遊ぶときは、下の子が入れない場所で遊ぶようにしてもらっている。
13	細かいもので遊ぶときは、テーブルの上で遊ぶ。
14	上の子がはさみを使うときは、テーブルの端だと手が届くので、奥に置かせるようにした。
15	上の子が細かい物を触るときはテーブルの上のみで作業してもらうようお願いした。
安全な環境を作る・安全に配慮された製品を使う	
1	手の届かないところにしまい、ゲートや新たに戸棚等に鍵をつけた。
2	保護材を購入した。
3	追いかけてこをしたときに、家具の角にぶつかってけがをしないように、角にクッションをつけている。
4	食器棚、冷蔵庫は簡単に開けられないようにしている。
5	キッチンやテレビ台回りに柵を設置しており、行けないようになっている。
6	危ないものが入っている引き出しなどはチャイルドロックをかけている。
7	下の子が上の子の真似が大好きなので、例えばはさみを使うときは、上の子には通常のはさみ、下の子には指が切れないはさみを渡し、親がそばで様子を見ている。何がどう危険かは二人に話している。
8	ベビーフェンスのような壁で囲って、その中で遊ばせている。
9	ドアの蝶番部分に指をはさまないようにカバーをしている。
10	目を離すときは必ずベビーベットかベビーサークルに入れる。
11	安全性のあるはさみを渡してあそばせた。
12	まだぶつけたり転んだり、椅子から落ちたりすることがあるため床にマットを敷いている。
13	上の子がドア類を開けられるようになり、バタバタとやりたい時期のようで下の子もそれについていくので、はさまぬよう様子を見つつ、よく開け閉めするドアには指をはさんでも痛くないように蛇腹をつけている。
14	テーブルやテレビ台など、角のある家具にはクッション材をつけている。
15	安心感のある製品を検討しています。
対策の必要がない・心配がない	
1	もうその時期は脱した。
2	歳が2歳しか離れていないので特に下の子のためにという注意はあまりしていなかった。
3	上の子と年が離れているので、あまり危険を感じるようなことはなかった。
4	最近はある程度大きくなってきたので気をつけていることはだいぶ減った。
5	下の子ももう成長したので特にない。
対策が取れない・方法が思いつかない	
1	気にはしているが、注意が行き届いている状態や環境ではない。
2	なるべく物は片づけるようにはしているが、すぐに散らかされてしまう。

3	ブロック類をなるべく片づけるようにしているが、完璧にはできない。
4	考える余裕もない。
5	玄関の鍵を開けて外へ出られるので、行かないように言い聞かせてはいるが行ってしまう。
その他	
1	床におもちゃなどが散らばっているときには走り回るような遊びをさせない。
2	ドアを急に開けない。
3	自転車は手を離す際、前輪ロックを必ずかけるように心がけた。風の強い日は、転倒しないよう風を受けにくい場所を探して停めるようにした。

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すものの以外はアンケート回答のまま掲載した。

Ⅲ. まとめ

東京都では、平成 21 年度から乳幼児やシニア世代を中心としたヒヤリ・ハット調査を行い、事故防止ガイド等を通じて消費者への注意喚起を行っている。

今回は、年齢の異なる子供のいる家庭における年下の乳幼児を対象に、兄や姉の製品を使用したことによって起こった危害及びヒヤリ・ハット経験や、兄や姉が年下の乳幼児の製品を使用して起こった危害及びヒヤリ・ハット経験等の事例収集を主な目的としたアンケート調査を実施した。

子供の行動は予想がつかず全てを防ぐことは不可能であるが、最小限の危害に食い止めるために、子供が居る環境においては、今回の調査結果と同様な事例が自分の周りでも起こり得るということを意識して、住宅や施設内で危険を回避するための注意・工夫を施していただきたい。

また、製品を提供する事業者等は、危害及びヒヤリ・ハット経験の事例や保護者等の要望を注視し、乳幼児の安全及び事故防止に十分留意した上で製品開発を行っていただきたい。家庭内の製品における利便性、デザイン性が高まった現在、安全性への配慮も製品の高付加価値に繋がるという意識を持って製品開発を行っていただきたい。

【今後の取組】

- (1) 危害及びヒヤリ・ハット経験の事例及び事故防止のポイントをまとめた事故防止ガイド（ヒヤリ・ハットレポート）を作成し、東京くらしWEBへ掲載するとともに、印刷物としてもイベント等で配布するなど、消費者への注意喚起に使用する。
- (2) 国及び関係事業者団体等へ調査結果を情報提供する。
- (3) 収集した危害及びヒヤリ・ハット経験等を事故の未然・拡大防止のための調査の基礎データとする。

IV. アンケート内容

Q1. あなたの居住地を教えてください。

選択してください ▼

Q2. あなたの性別を教えてください。

☐ 1. 男性

☐ 2. 女性

Q3. あなたの年齢を教えてください。

歳

Q4. あなたと同居しているお子さんの人数を教えてください。

※同居しているお子さんがあなたの兄弟姉妹にあたる場合は、そのお子さんを除いた人数をご回答ください。

☐ 0人

☐ 1人

☐ 2人

☐ 3人

☐ 4人以上

Q5はQ4でお子さんが1人以上いるとお答えの方にお伺いします。

Q5. あなたと同居しているお子さんの性別と年齢を教えてください。複数選択可

※同居しているお子さんがあなたの兄弟姉妹にあたる場合は、そのお子さんを除いてご回答ください。

	6ヶ月未満	6ヶ月以上1歳未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校入学前で6歳	小学生以上
1) 男の子	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2) 女の子	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

ここからは、日常生活で使用する製品等に関する「年齢の異なる子供のいる家庭」での乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験についてうかがいます。

日常生活で使用する製品等に関する年下の乳幼児(※1)の危害及びヒヤリ・ハット経験を教えてください。

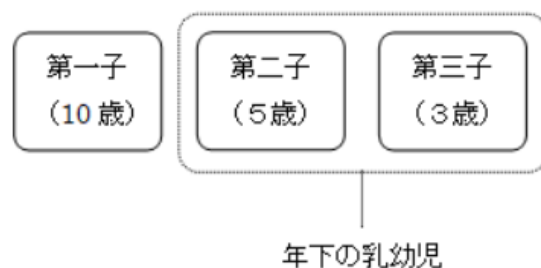
※1 本調査において、「乳幼児」とは、小学校入学前までの子をいい、「年下の乳幼児」とは、兄や姉をもつ乳幼児のことで、

ア 末子に限りません。

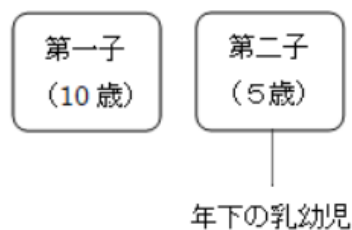
イ 兄や姉の年齢は問いません(兄や姉自身が乳幼児である場合も含みます。)

ウ 双子等の乳幼児同士は、同一年齢のため、兄や姉をもつ乳幼児の対象としません。

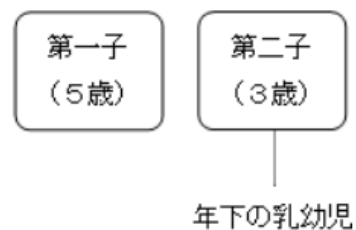
【アの例】



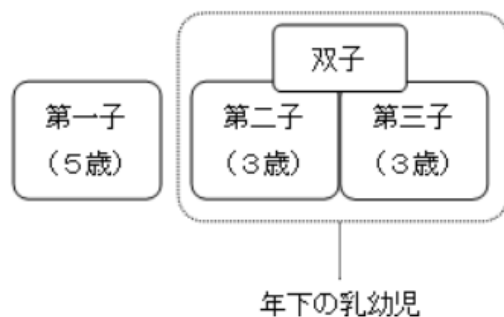
【イの例①】



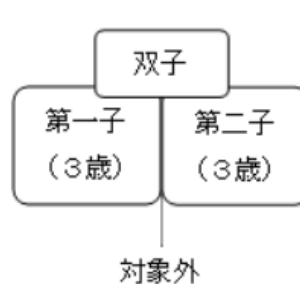
【イの例②】



【ウの例①】



【ウの例②】



あなたと同居している年下の乳幼児についてうかがいます。

年下の乳幼児が、現在小学生以上であってもかまいません。その場合は、乳幼児のときの経験を記入してください。
なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

Q6. あなたと同居している年下の乳幼児が、次の3つの状況で、けが(※2)をしたり、しそうな経験はありますか？

※2「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息等による体調不良を含みます。

<場面1>年下の乳幼児が、兄や姉の製品を使用したことによって起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験

(例)おもちゃ・文具・はさみ・カッター・アクセサリー・医薬品・自転車…



<場面2>兄や姉が、年下の乳幼児の製品(乳幼児の安全対策のための製品を含む)を使用したことによって起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験

(例)ベビーカー・抱っこひも・ベビーベッド・ベビーチェア・バウンサー・歩行器・ベビーゲート・ベビーサークル…



<場面3>保護者または兄や姉が、**場面1、2以外の製品**を使用して起こった年下の乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験(製品を使用したのが保護者の場合でも、兄や姉との関わりのある経験に限る。)
 (例)扉・自転車・調理器具・冷暖房器具・医薬品・洗剤・消臭剤・健康器具・たばこ・化粧品……

保護者が製品を使用していたときの例



<イメージ>

姉を保育園に送るため、下の子を自転車の前部の座席に座らせた後、姉を後部座席に寄せようと少し目を離したときに、自転車がぐらつき下の子が自転車ごと転倒してしまい、けがをした。



<イメージ>

私(母)が下の子の耳かきをしていたら、上の子が私の背中に飛び乗ってきた。とっさに耳かきを引き抜いたのだけがなかったがヒヤリとした。

兄や姉が製品を使用していたときの例



<イメージ>

スイッチを切った電気カーペットの上で0歳の下の子を寝かせ毛布をかけておいたが、6歳の姉がスイッチを入れたようで、下の子が汗びしょりになっていた。



<イメージ>

下の子が1歳のとき、リビングの開き戸を触って遊んでいて、それを知らずに4歳の上の子がドアを勢いよく開け入ってきたら、指をはさんだ。

	けが※をしたり、 しそうな経験がある	けが※をしたりしそうな経験はない
<場面1>	☐	☐
<場面2>	☐	☐
<場面3>	☐	☐

※けが: やけど、誤飲、窒息等による体調不良を含む

＜場面1＞年下の乳幼児(※1)が、兄や姉の製品を使用したことによって、
けが(※2)をした、しそうな経験について教えてください。

※1 本調査において、「乳幼児」とは、小学校入学前までの子をいい、「年下の乳幼児」とは、兄や姉をもつ乳幼児のことで、

- 末子に限りません。
- 兄や姉の年齢は問いません(兄や姉自身が乳幼児である場合も含みます。)
- 双子等の乳幼児同士は、同一年齢のため、兄や姉をもつ乳幼児の対象としません。

※2 「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息等による体調不良を含みます。

複数の経験がある場合は、最も印象的だった事例1つをお答えください。

年下の乳幼児が、現在小学生以上であってもかまいません。その場合は、乳幼児のときの経験を記入してください。
なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。



＜イメージ＞

床に落ちていた兄のおもちゃの小さな部品を、6歳の弟が手に取り、口に入れそうになったため、慌てて取り上げた。対象年齢6歳からのおもちゃだった。



＜イメージ＞

小学生の姉が工作で使用していたテーブルの上のはさみを下の子が手をのばして触ろうとしていた。

Q7. その経験は、どのような程度でしたか。

- ☐ 1. けがをして入院した
- ☐ 2. けがをして病院へ行った
- ☐ 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- ☐ 4. けがをしそうになった

Q8. その経験の詳細を、兄や姉との関わりが分かるように、記入例を参考に教えてください。

<記入例1>製品等の名称:おもちゃ

床に落ちていた兄のおもちゃの小さな部品を、0歳の弟が手に取り、口に入れそうになったため、慌てて取り上げた。対象年齢6歳からのおもちゃだった。

<記入例2>製品等の名称:はさみ

小学生の姉が工作で使用していたテーブルの上のはさみを下の子が手をのばして触ろうとしていた。

製品等の名称

その経験の詳細

Q9. そのときの年下の乳幼児の性別と年齢の組み合わせを教えてください。

- ☐ 男児0歳
- ☐ 男児1歳
- ☐ 男児2歳
- ☐ 男児3歳
- ☐ 男児4歳
- ☐ 男児5歳
- ☐ 男児6歳
- ☐ 女児0歳
- ☐ 女児1歳
- ☐ 女児2歳
- ☐ 女児3歳
- ☐ 女児4歳
- ☐ 女児5歳
- ☐ 女児6歳

＜場面2＞兄や姉が、年下の乳幼児（※1）の製品（年下の乳幼児の安全対策のための製品を含む）を使用したことによって、年下の乳幼児がけが（※2）をした、しそうな経験について教えてください。

※1 本調査において、「乳幼児」とは、小学校入学前までの子をいい、「年下の乳幼児」とは、兄や姉をもつ乳幼児のことで、

- 末子に限りません。
- 兄や姉の年齢は問いません（兄や姉自身が乳幼児である場合も含みます。）。
- 双子等の乳幼児同士は、同一年齢のため、兄や姉をもつ乳幼児の対象としません。

※2 「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息等による体調不良を含みます。

複数の経験がある場合は、最も印象的だった事例1つをお答えください。

年下の乳幼児が、現在小学生以上であってもかまいません。その場合は、乳幼児のときの経験を記入してください。なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。



＜イメージ＞

ベビーカーに下の子を乗せて散歩中、一時離れたときに、5歳の兄がベビーカーの持ち手にぶら下がり、ベビーカーごと倒れた。



＜イメージ＞

下の子のために階段の上にベビーゲートをつけているが、上の子（3歳）がロックを解除し、下の子がゲートを開けて転げ落ちてしまった。

Q10. その経験は、どのような程度でしたか。

- ☐ 1. けがをして入院した
- ☐ 2. けがをして病院へ行った
- ☐ 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- ☐ 4. けがをしそうになった

Q11. その経験の詳細を、兄や姉との関わりが分かるように、記入例を参考に教えてください。

<記入例1>製品等の名称:ベビーカー

ベビーカーに下の子を乗せて散歩中、一時離れたときに、5歳の兄がベビーカーの持ち手にぶら下がり、ベビーカーごと倒れた。

<記入例2>製品等の名称:ベビーゲート

下の子のために階段の上にベビーゲートをつけているが、上の子(3歳)がロックを解除し、下の子がゲートを開けて転が落ちてしまった。

製品等の名称

その経験の詳細

Q12. そのときの年下の乳幼児の性別と年齢の組み合わせを教えてください。

- ☐ 1. 男児0歳
- ☐ 2. 男児1歳
- ☐ 3. 男児2歳
- ☐ 4. 男児3歳
- ☐ 5. 男児4歳
- ☐ 6. 男児5歳
- ☐ 7. 男児6歳
- ☐ 8. 女児0歳
- ☐ 9. 女児1歳
- ☐ 10. 女児2歳
- ☐ 11. 女児3歳
- ☐ 12. 女児4歳
- ☐ 13. 女児5歳
- ☐ 14. 女児6歳

<場面3>保護者または兄や姉が、兄や姉の製品・年下の乳幼児の製品以外の製品を使用したことにより、
年下の乳幼児(※1)がけが(※2)をした、しそうな経験について教えてください。
(製品を使用したのが保護者の場合、兄や姉との関わりのある経験に限ります。)

※1 本調査において、「乳幼児」とは、小学校入学前までの子をいい、「年下の乳幼児」とは、兄や姉をもつ乳幼児のことで、

- 末子に限られません。
- 兄や姉の年齢は問いません(兄や姉自身が乳幼児である場合も含みます。)
- 双子等の乳幼児同士は、同一年齢のため、兄や姉をもつ乳幼児の対象としません。

※2 「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息等による体調不良を含みます。

複数の経験がある場合は、最も印象的だった事例1つをお答えください。

年下の乳幼児が、現在小学生以上であってもかまいません。その場合は、乳幼児のときの経験を記入してください。
なお、保育園や託児所及び幼稚園等で起こったことは除きます。

保護者が製品を使用していたときの例



<イメージ>

姉を保育園に送るため、下の子を自転車の前部の座席に座らせた後、姉を後部座席に乗せようと少し目を離したときに、自転車がぐらつき下の子が自転車ごと転倒してしまい、けがをした。



<イメージ>

私(母)が下の子の耳かきをしていたら、上の子が私の背中に飛び乗ってきた。とっさに耳かきを引き抜いたのですがはななかったがヒヤリとした。

兄や姉が製品を使用していたときの例



<イメージ>

スイッチを切った電気カーペットの上で0歳の下の子を寝かせ毛布をかけておいたが、6歳の姉がスイッチを入れたようで、下の子が汗びしょりになっていた。



<イメージ>

下の子が1歳のとき、リビングの開き戸を触って遊んでいて、それを知らずに4歳の上の子がドアを勢いよく開け入ってきたら、指をはさんだ。

Q13. その経験は、どのような程度でしたか。

- ☐ 1. けがをして入院した
- ☐ 2. けがをして病院へ行った
- ☐ 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- ☐ 4. けがをしそうになった

Q14. その経験の詳細を、兄や姉との関わりが分かるように、記入例を参考に教えてください。

<記入例1>製品等の名称:自転車

姉を保育園に送るため、下の子を自転車の前部の座席に座らせた後、姉を後部座席に乗せようと少し目を離したときに、自転車がぐらつき下の子が自転車ごと転倒してしまい、けがをした。

<記入例2>製品等の名称:耳かき

私(母)が下の子の耳かきをしていたら、上の子が私の背中に飛び乗ってきた。とっさに耳かきを引き抜いたのでケガはなかったがヒヤリとした。

<記入例3>製品等の名称:電気カーペット

スイッチを切った電気カーペットの上で0歳の下の子を寝かせ毛布をかけておいたが、6歳の姉がスイッチを入れたようで、下の子が汗びしょりになっていた。

<記入例4>製品等の名称:開き戸

下の子が1歳のとき、リビングの開き戸を触って遊んでいて、それを知らずに4歳の上の子がドアを勢いよく開け入ってきたら、指をはさんだ。

製品等の名称

その経験の詳細

Q15. そのときの年下の乳幼児の性別と年齢の組み合わせを教えてください。

- ☐ 1. 男児0歳
- ☐ 2. 男児1歳
- ☐ 3. 男児2歳
- ☐ 4. 男児3歳
- ☐ 5. 男児4歳
- ☐ 6. 男児5歳
- ☐ 7. 男児6歳
- ☐ 8. 女児0歳
- ☐ 9. 女児1歳
- ☐ 10. 女児2歳
- ☐ 11. 女児3歳
- ☐ 12. 女児4歳
- ☐ 13. 女児5歳
- ☐ 14. 女児6歳

Q16. 日常生活で使用する製品等に関し、あなたが年下の乳幼児の身の回りの安全(けが、やけど、誤飲等の未然防止)のために気をつけていることや工夫があったら教えてください。

<記入例>

上の子は小さな部品のあるおもちゃで楽しむ年齢なので、下の子が誤飲してしまわないように、親が様子をみるようにしている。

また、「小さな部品を飲み込んでしまうと危険なこと、遊んだあとは箱に片づけ、箱を下の子の手の届かないところへしまうこと」を上の子に話している。